

統計からみた

わかやまの畜産'23

令和5年

和歌山県農林水産部農業生産局畜産課

目 次

I 和歌山県の畜産の概要	
1. 畜産の現況	1
2. 農業産出額と畜産産出額	2
3. 市町村別家畜単位の分布	3
II 畜種別の動向	
1. 乳用牛	4
(1) 飼養戸数及び飼養頭数	
(2) 飼養頭数内訳	
(3) 成畜飼養頭数規模別農家数割合(R5)	
2. 肉用牛	6
(1) 飼養戸数及び飼養頭数	
(2) 飼養頭数内訳	
(3) 頭数規模別農家数割合(R5)	
(4) 和歌山県熊野牛子牛市場取引頭数及び平均価格	
3. 豚	8
(1) 飼養戸数及び飼養頭数	
(2) 飼養頭数内訳	
(3) 肥育豚飼養頭数規模別農家数割合(R5)	
4. 採卵鶏	10
(1) 飼養戸数及び飼養羽数	
(2) 成鶏めす飼養羽数規模別農家数割合(R5)	
(3) 鶏卵の生産量	
5. ブロイラー	12
(1) 飼養戸数及び飼養羽数	
(2) 出荷羽数規模別農家数割合(R5)	

6. みつばち	14
(1) 飼養戸数及び飼養ほう群数	
(2) 飼養ほう群規模別飼養者数割合(R5)	
(3) はちみつの生産量	
7. 特用家畜	16
(1) 特用家畜の飼養状況	
(2) イノブタ、地鶏、ホロホロ鳥の飼養戸数及び飼養頭羽数	
Ⅲ 畜産関係機関	
畜産関係機関所在地一覧	18
Ⅳ 参考資料	
1. 都道府県別畜産統計	19
(1) 乳用牛の飼養戸数・頭数	
(2) 肉用牛の飼養戸数・頭数	
(3) 豚の飼養戸数・頭数	
(4) 採卵鶏の飼養戸数・羽数(千羽)	
(5) ブロイラーの飼養戸数・羽数(千羽)	
(6) ミツバチの飼養戸数・ほう群数及びはちみつ生産量	
2. 家畜衛生	24
家畜伝染病(法定伝染病)発生状況	
3. 畜産物生産費(全国)	25
(1) 乳用牛生産費	
(2) 肉用牛生産費	
(3) 豚生産費	
4. 畜産環境	28
5. 和歌山県の畜産物紹介	29

I 和歌山県の畜産の概要

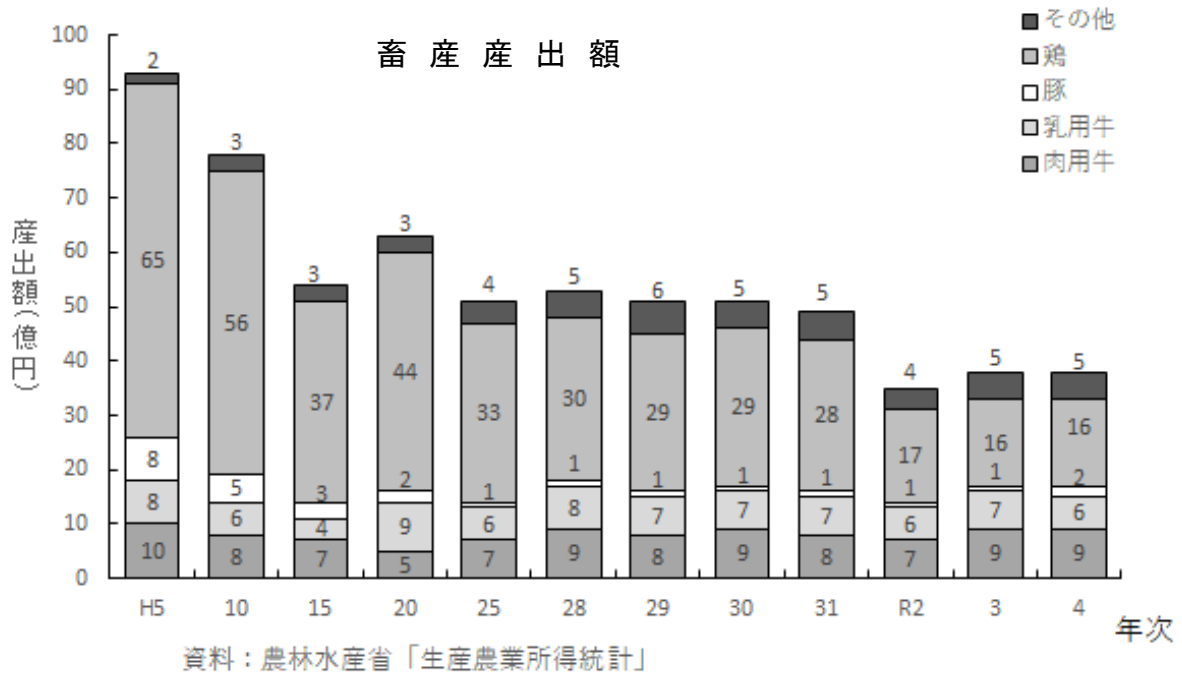
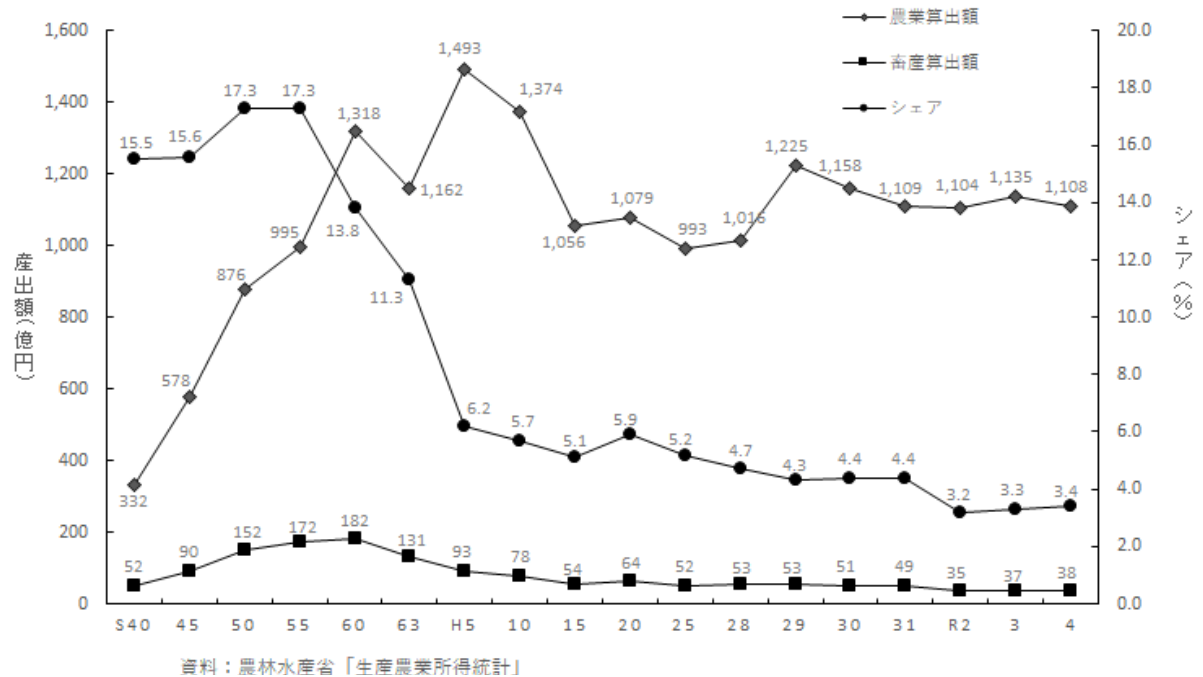
1. 畜産の現況

区分	単位	全国	近畿	和歌山県	全国順位	近畿地域内順位
飼養戸数(R5)						
乳用牛	戸	12,600	357	6	47	6
肉用牛	戸	38,600	1,330	48	42	4
豚	戸	3,370	48	6	43	4
採卵鶏	戸	1,760	139	19	32	4
ブロイラー	戸	2,100	72	16	23	2
みつばち	戸	11,416	1,136	281	19	2
飼養頭羽数・ほう群数(R5)						
乳用牛	頭	1,356,000	23,300	500	47	6
肉用牛	頭	2,687,000	93,900	2,770	44	5
豚	頭	8,956,000	41,600	1,460	46	5
採卵鶏	千羽	172,265	8,670	265	42	4
ブロイラー	千羽	141,463	3,018	249	34	3
みつばち	群	237,222	20,425	11,122	5	1
農業産出額(R4)	億円	90,417	4,689	1,108	30	2
畜産	億円	34,637	1,004	38	45	5
乳用牛	億円	8,844	224	6	47	6
肉用牛	億円	7,912	294	9	44	5
豚	億円	6,775	37	2	45	6
鶏	億円	10,162	439	16	43	3
その他	億円	979	10	5	12	1

資料：農林水産省「畜産統計調査」、「生産農業所得統計」、県畜産課調べ(みつばち)

2. 農業産出額と畜産産出額

農業産出額と畜産産出額の推移

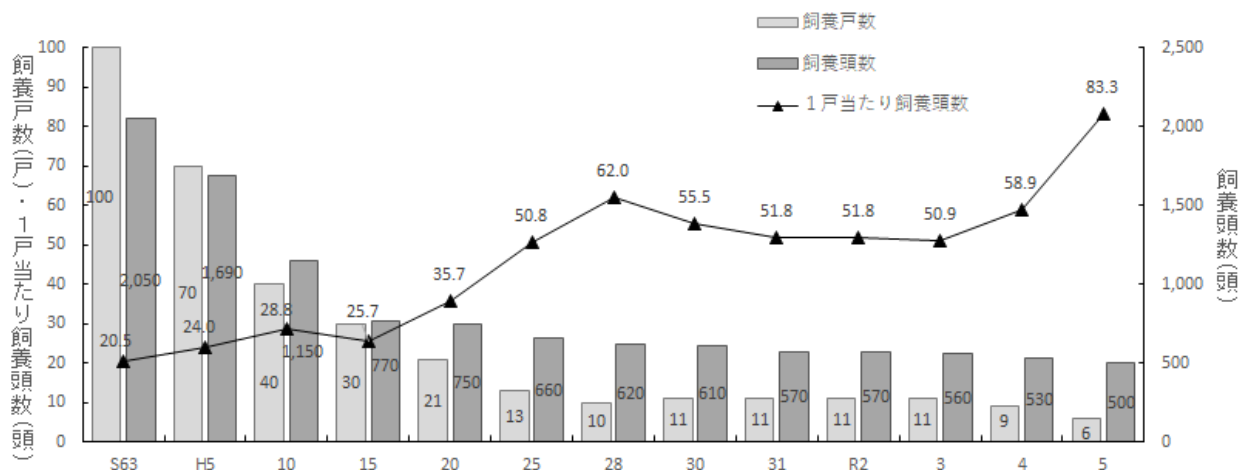


本件における令和4年の畜産産出額は、38億円で農業算出額の3.4%を占めている。畜産産出額は前年比1億円増でそのうちの16億円(42.1%)は鶏で、次いで肉用牛9億円(23.7%)、乳用牛6億円(15.8%)、豚2億円(5.3%)その他畜産物5億円(13.2%)となっている。

II 畜種別の動向

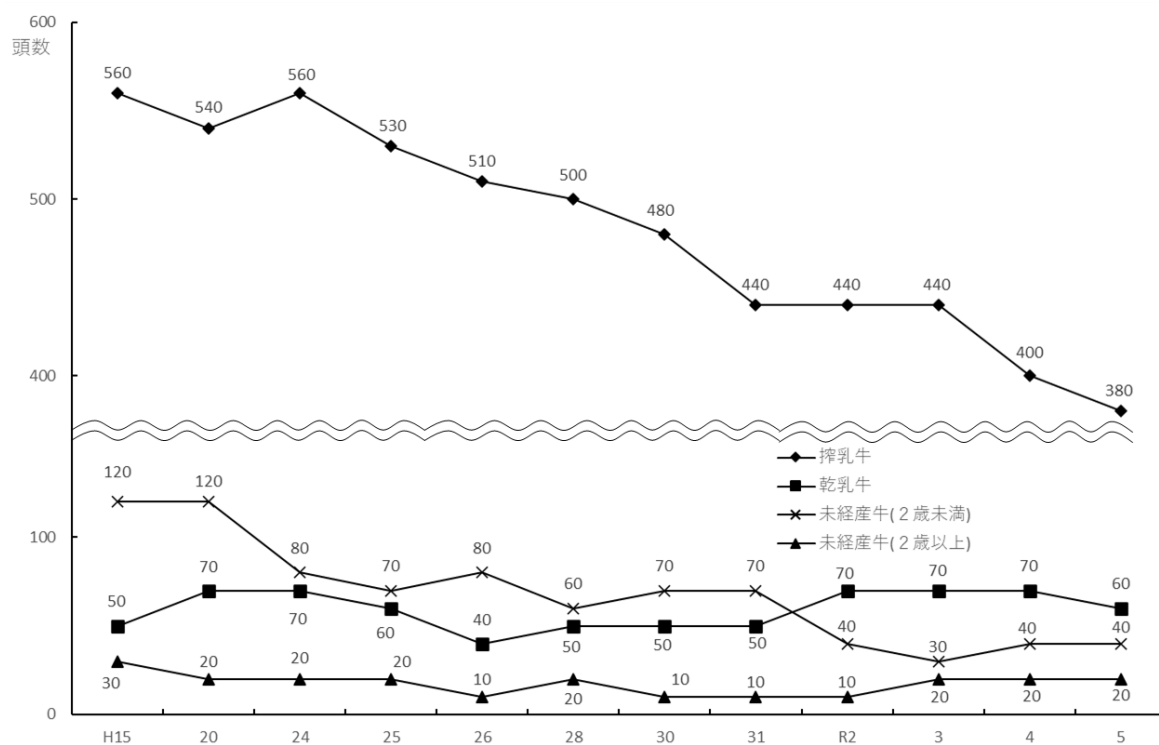
1. 乳用牛

(1) 飼養戸数及び飼養頭数



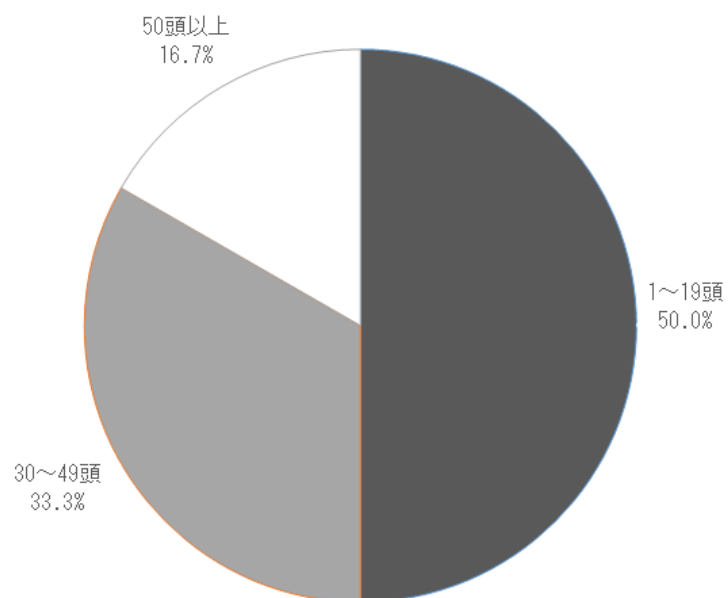
資料：農林水産省「畜産統計調査」（各年2月1日現在）

(2) 飼養頭数内訳



- ・搾乳牛 経産牛のうち搾乳中の牛のこと
- ・乾乳牛 経産牛のうち搾乳していない牛のこと
- ・未搾乳牛 出生してから分娩するまでの牛で、生後24か月くらいまでが主体。

(3) 成畜飼養頭数規模別農家数割合(R5)



資料：農林水産省「畜産統計調査」

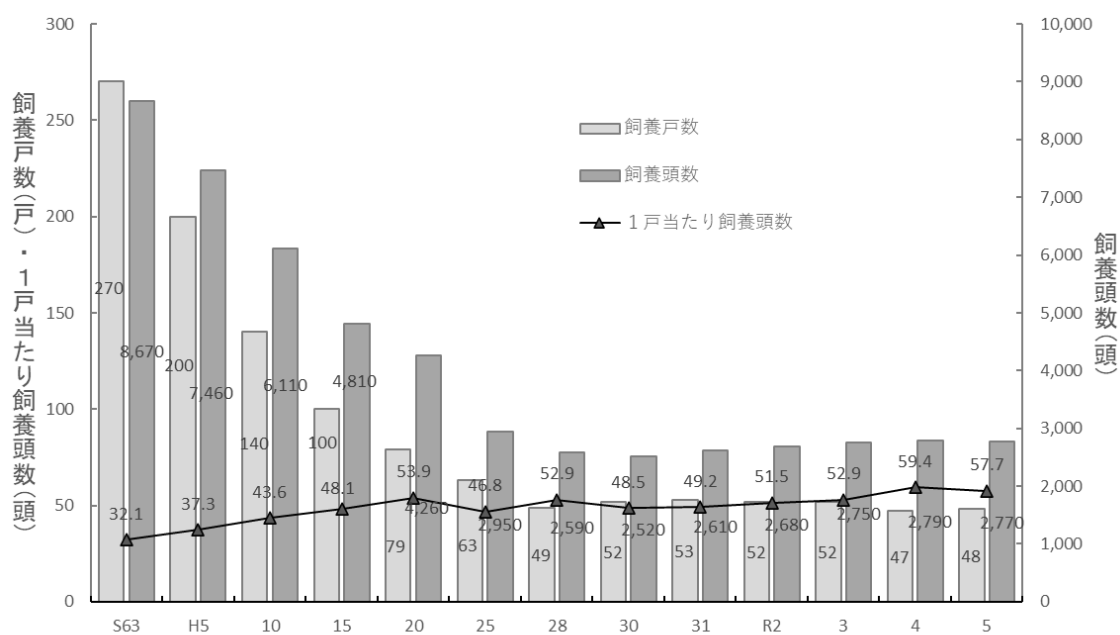
飼養戸数は6戸

飼養頭数は500頭、1戸当たりの飼養頭数は83.3(全国平均107.6)頭だった。



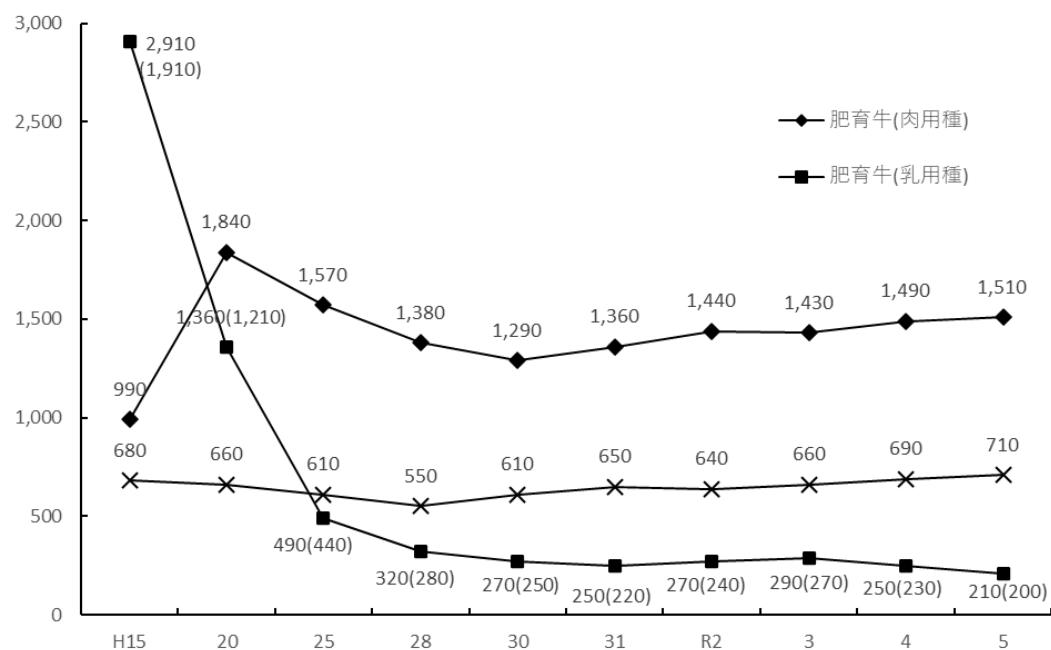
2. 肉用牛

(1) 飼養戸数及び飼養頭数



資料：農林水産省「畜産統計調査」（各年2月1日現在）

(2) 飼養頭数内訳



・肥育牛

肉用牛として販売することを目的に飼養している牛のこと。

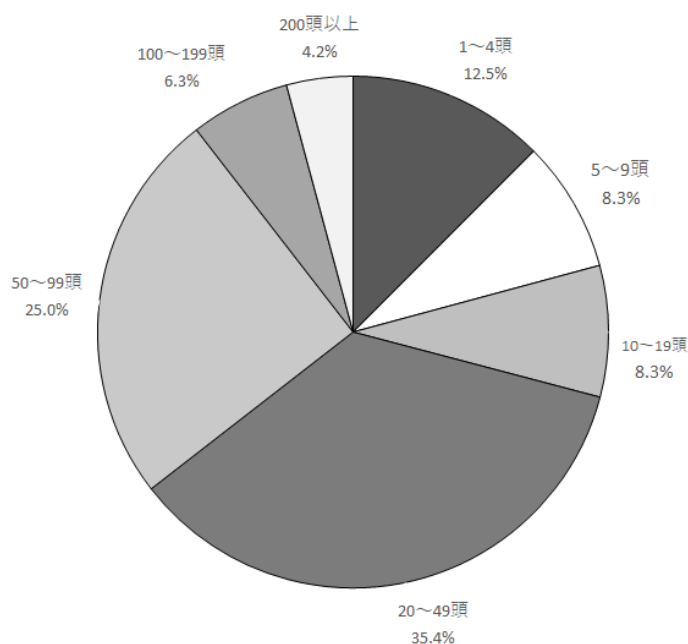
したがって、ほ乳・育成中の牛でも引き続き自家で肥育する予定のものは肥育牛とする。

・子取り用めす牛

子牛を生産することを目的に飼養している肉用種のめす牛のこと。

過去に種付けしたことのあるめす牛及び将来種付けすることが確定している牛である。

(3) 頭数規模別農家数割合 (R5)



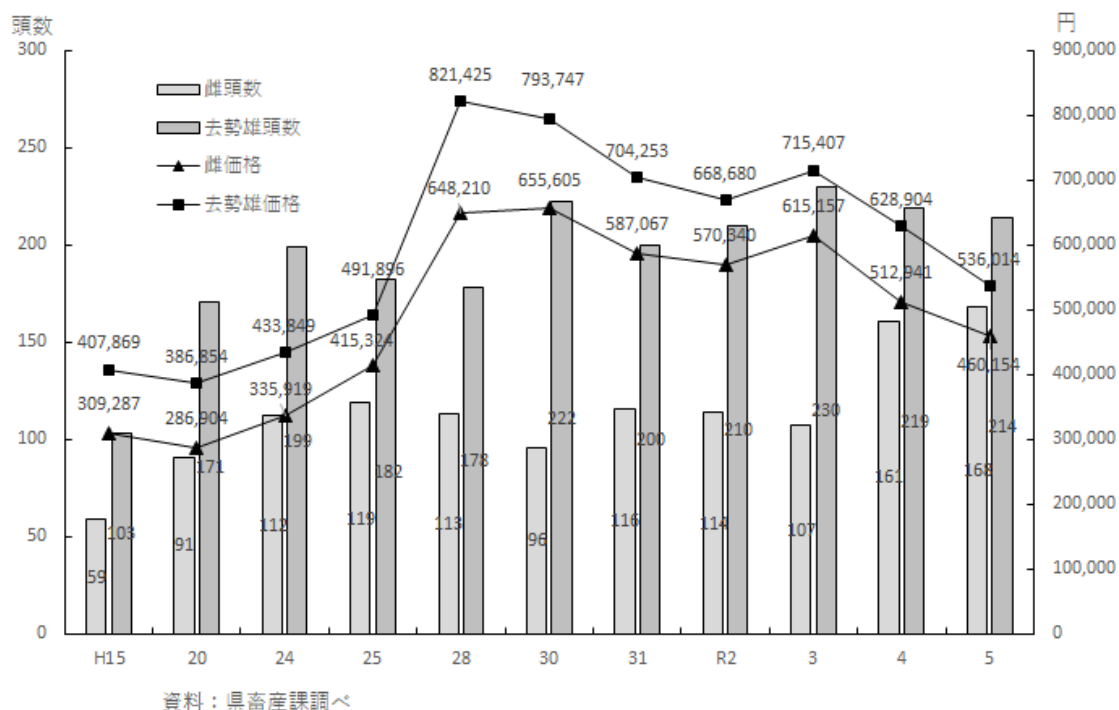
飼養戸数は48戸。

飼養頭数は2,770頭。

1戸当たりの飼養頭数は57.7(全国平均69.6)頭で、前年に比べ1.7頭減少した。

頭数規模別農家数割合では50頭未満の農家数が6割以上占めている。

(4) 和歌山県熊野牛子牛市場取引頭数及び平均価格



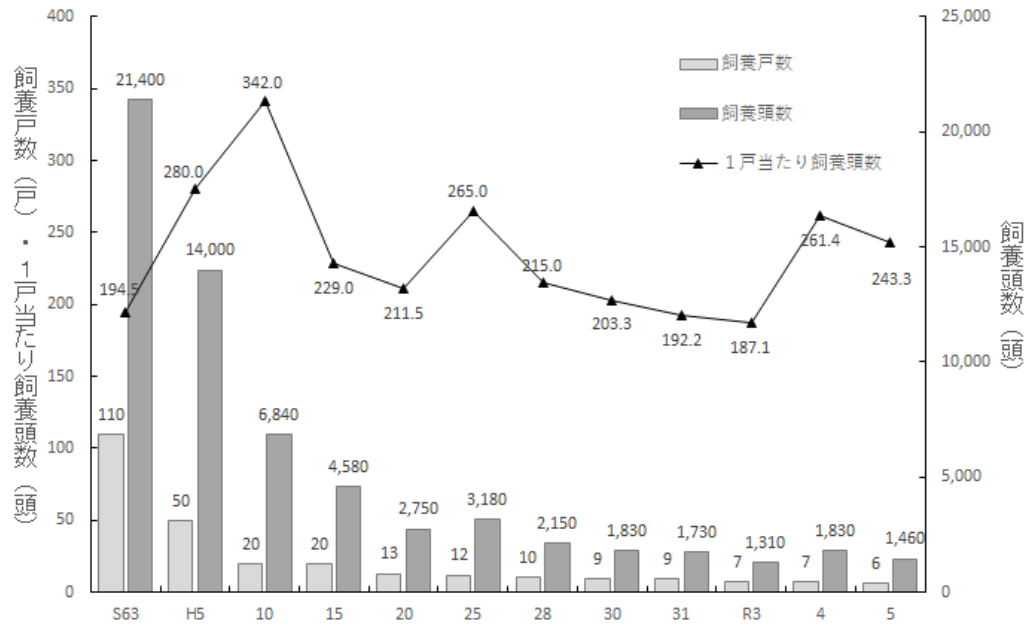
令和5年度の取引頭数は、過去最高の382頭。

一方、雌の取引価格は460,154円、去勢の取引価格は536,014円で、前年度に比べ減少した。

和歌山県熊野牛子牛市場は令和4年度より年4回から年5回開催となった。

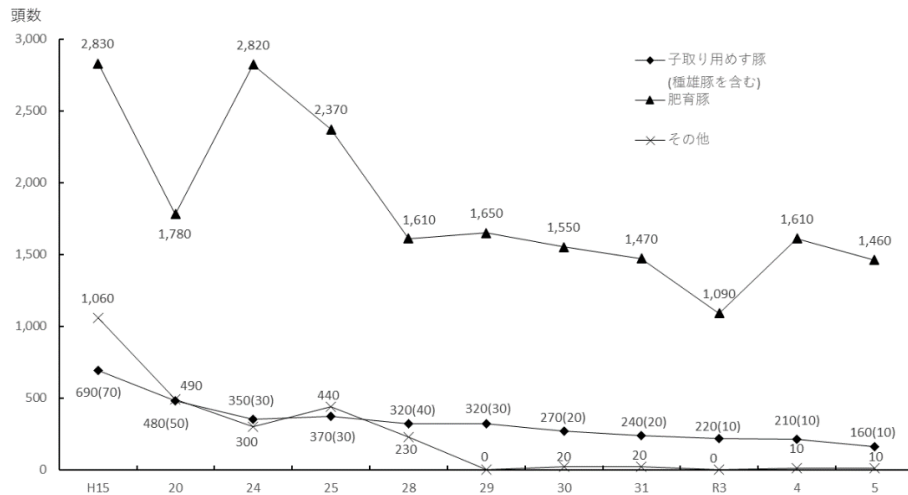
2. 豚

(1) 飼養戸数及び飼養頭数



資料：農林水産省「畜産統計調査」（各年2月1日現在）
 ※平成27年・令和2年は、農林業センサス実施年のため数値なし。

(2) 飼養頭数内訳



資料：農林水産省「畜産統計調査」（各年2月1日現在）
 ※子取り用めす豚には、種雄豚を含む（）内は種雄豚の頭数である。
 ※平成27年・令和2年は、農林業センサス実施年のため数値なし。

・子取り用めす豚

生後6か月以上で子豚を生産することを目的に飼養しているめす豚のこと。過去に種付けしたことのある豚及び近い将来種付けすることが確定している豚である。

・種雄豚

生後6か月以上で種付けに供することを目的に飼養している雄豚のこと。過去に種付けに供したことのある豚及び近い将来種付けに供することが確定している豚である。

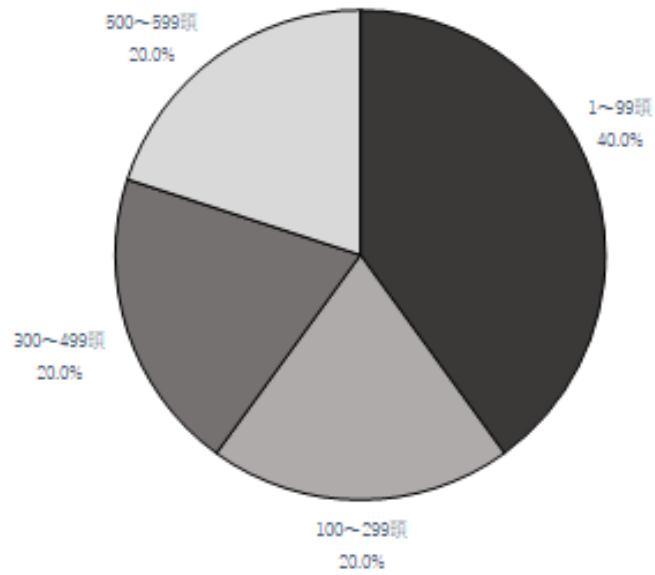
・肥育豚

自家で飼養して肉豚として販売することを目的に飼養している豚のこと。
 肥育用のもと豚として販売するものは含めない。

・その他

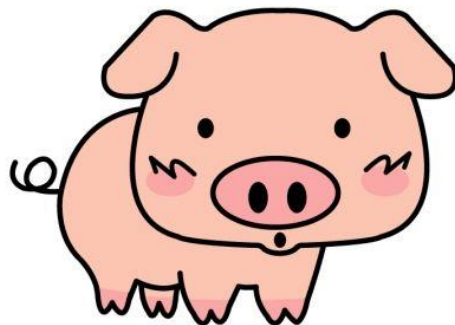
上記以外の豚をいう。また、肥育用のもと豚として販売するものはここに含める。

(3) 肥育豚飼養頭数規模別農家数割合<R5>



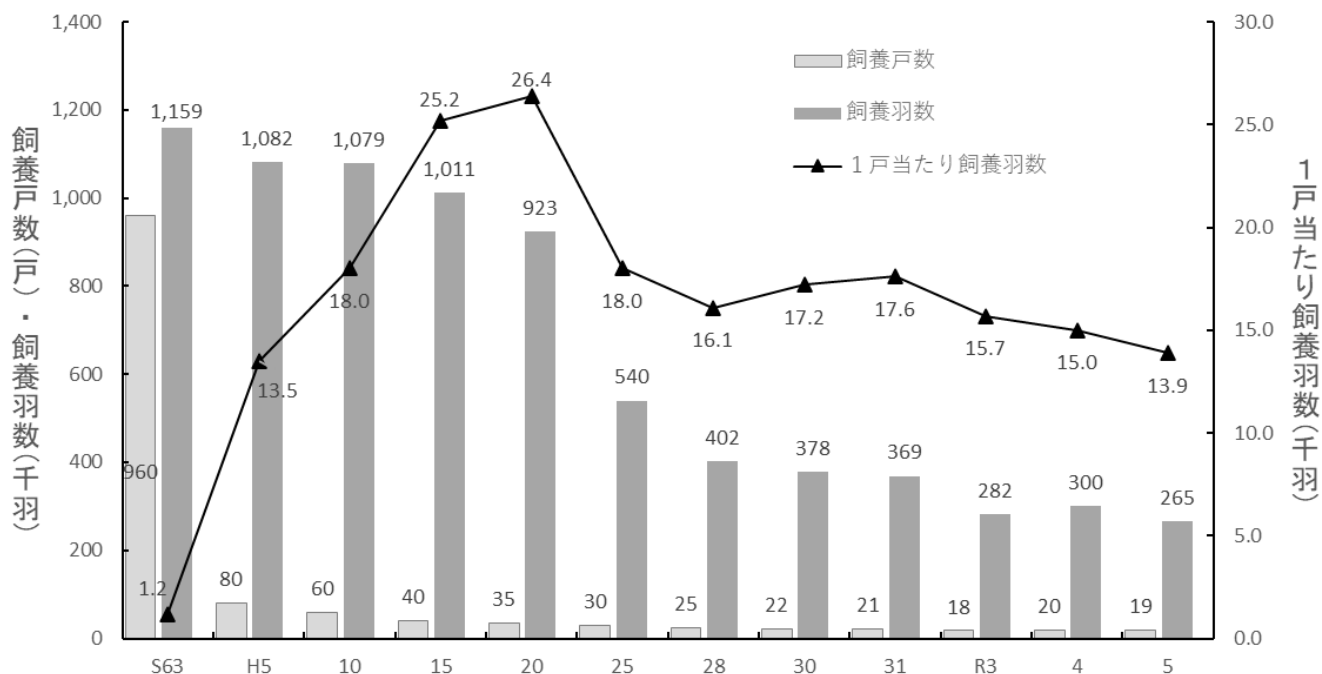
資料：農林水産省「畜産統計調査」

飼養戸数は6戸。
飼養頭数は1,460頭。
1戸当たりの飼養頭数は292.0(全国平均2,657.6)頭だった。



4. 採卵鶏

(1) 飼養戸数及び飼養羽数



資料：農林水産省「畜産統計調査」（各年2月1日現在）

※飼養戸数について、平成10年より1,000羽未満の飼養者を除く。

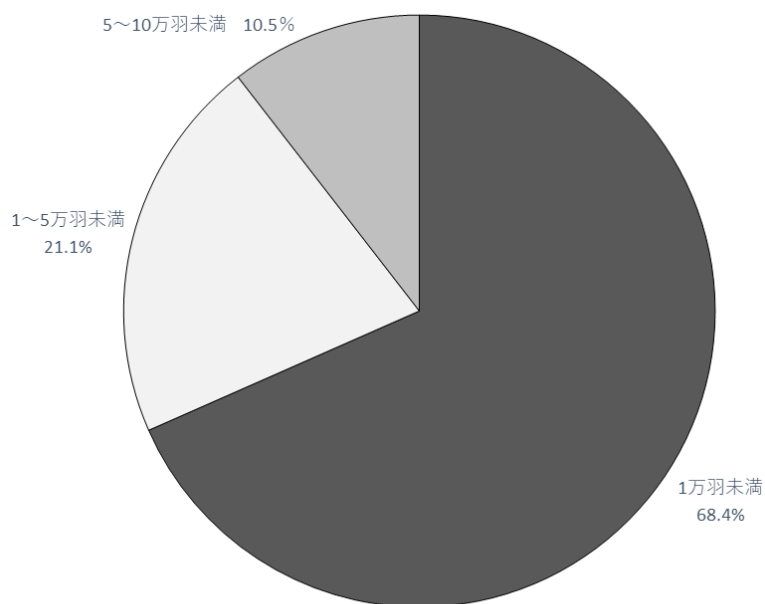
平成14年より種鶏農家を除く。

※平成27年・令和2年は農林業センサス実施年のため数値なし。

・採卵鶏 鶏卵を生産することを目的として飼養している鶏のこと。



(2) 成鶏めす飼養羽数規模別農家数割合(R5)



資料：農林水産省「畜産統計調査」
 ・成鶏めす 生後6か月齢以上のめすの鶏のこと。

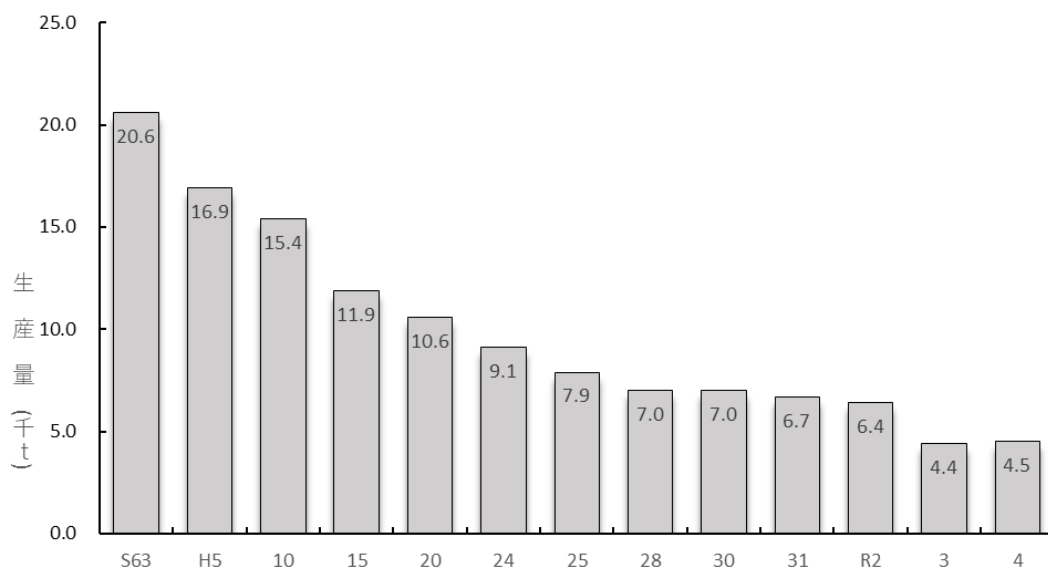
飼養戸数は19戸。

飼養羽数は265千羽。

1戸当たりの飼養羽数13.3千羽(全国平均76.1千羽)だった。

成鶏めす飼養羽数規模別農家数割合では、1万羽未満の農家数が全体の約7割を占めている。

(3) 鶏卵の生産数

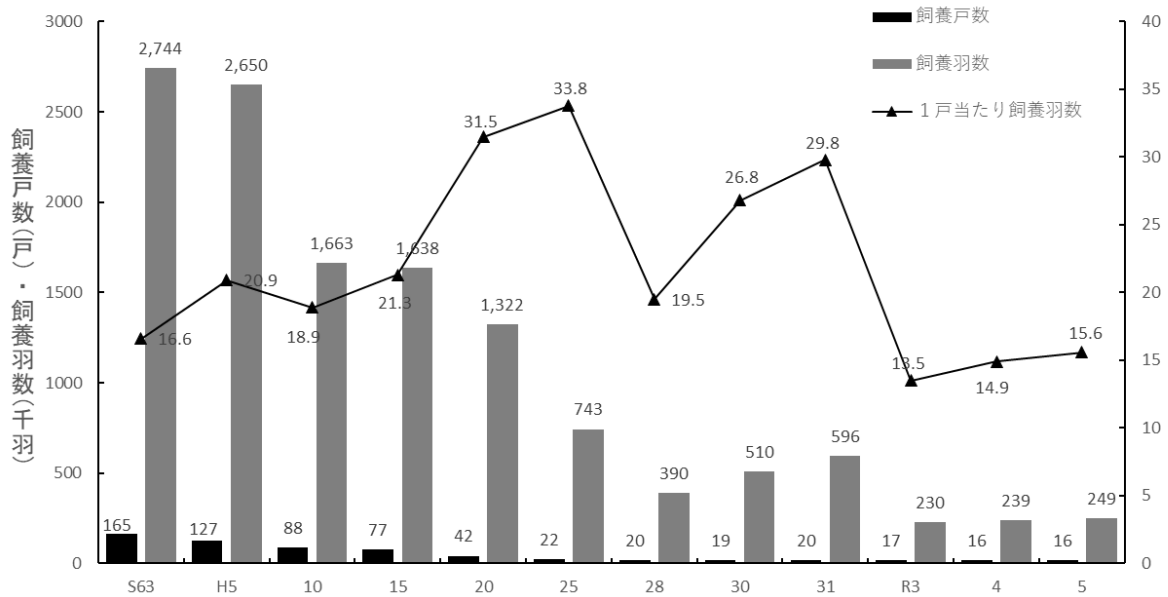


資料：農林水産省「畜産物流通統計」

令和4年における県内の鶏卵の生産量は4,479トンだった。

5. ブロイラー

(1) 飼養戸数及び飼養羽数

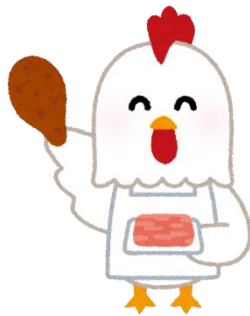


資料：農林水産省「畜産統計調査」〈各年2月1日現在〉

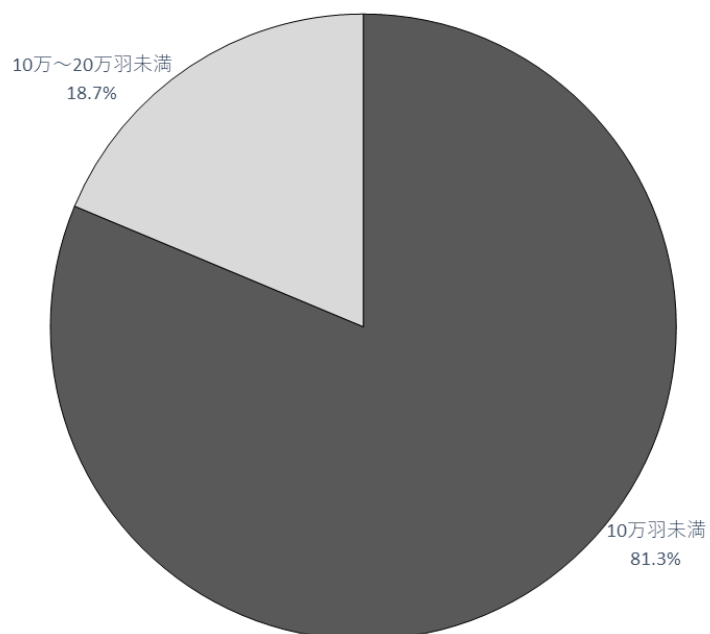
※平成22年以降は国が調査を中止したため、24年までは県畜産課調べの数値。25年より調査を再開。

※平成27年・令和2年は農林業センサス実施年のため数値なし。

ブロイラー 食用に供される肉用若鶏のこと。



(2)出荷羽数規模別農家数割合(R5)



資料：農林水産省「畜産統計調査」

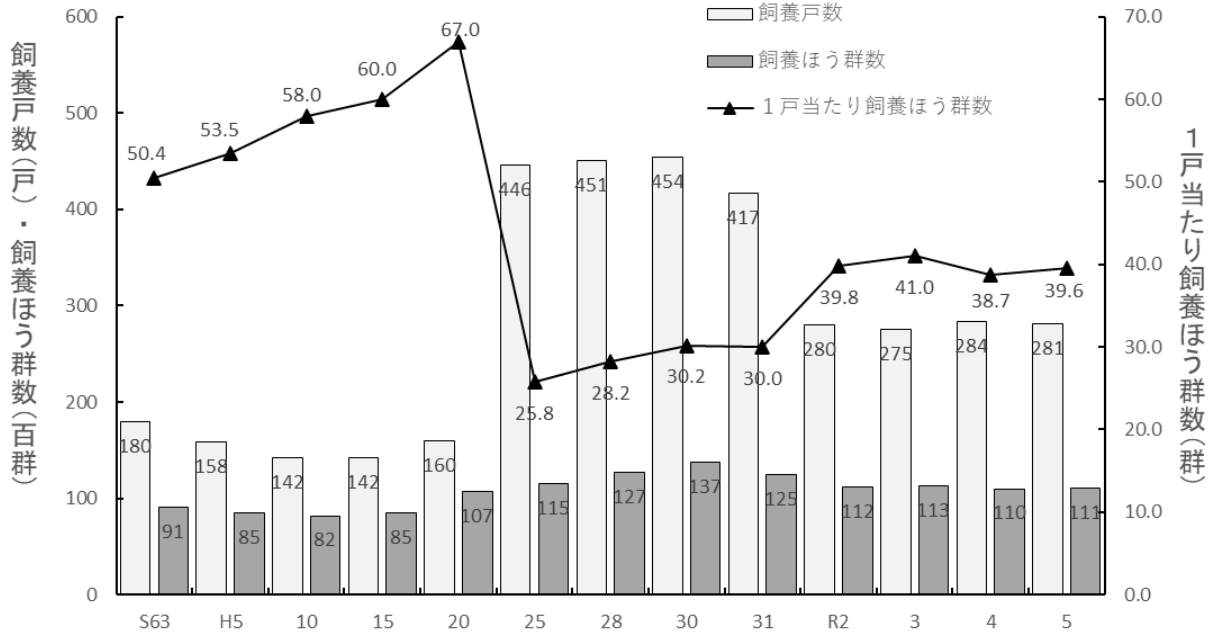
飼養戸数は16戸。

飼養羽数は249千羽。

1戸当たりの飼養羽数15.6千羽(全国平均67.4千羽)だった。

6. みつばち

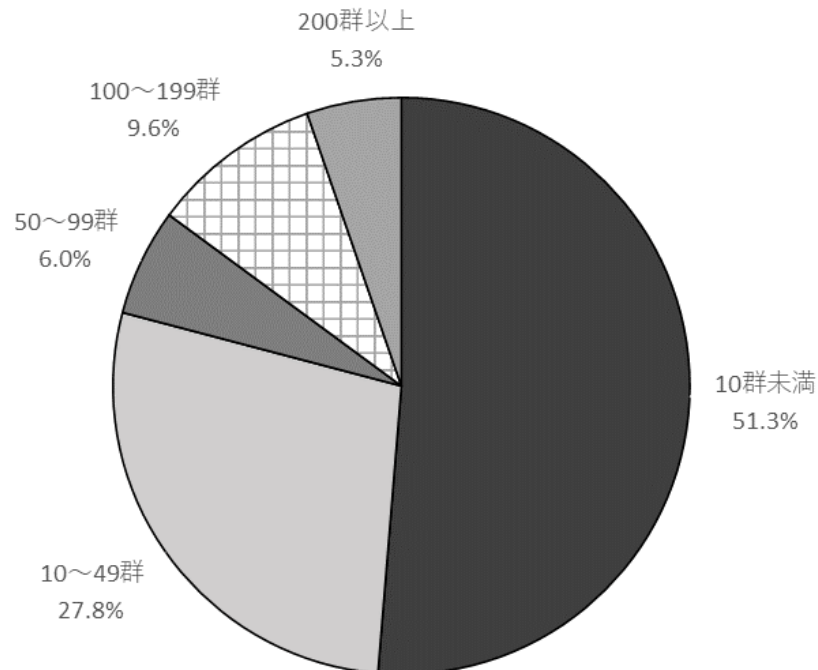
(1) 飼養戸数及び飼養ほう群数



資料：県畜産課調べ(各年1月1日現在)

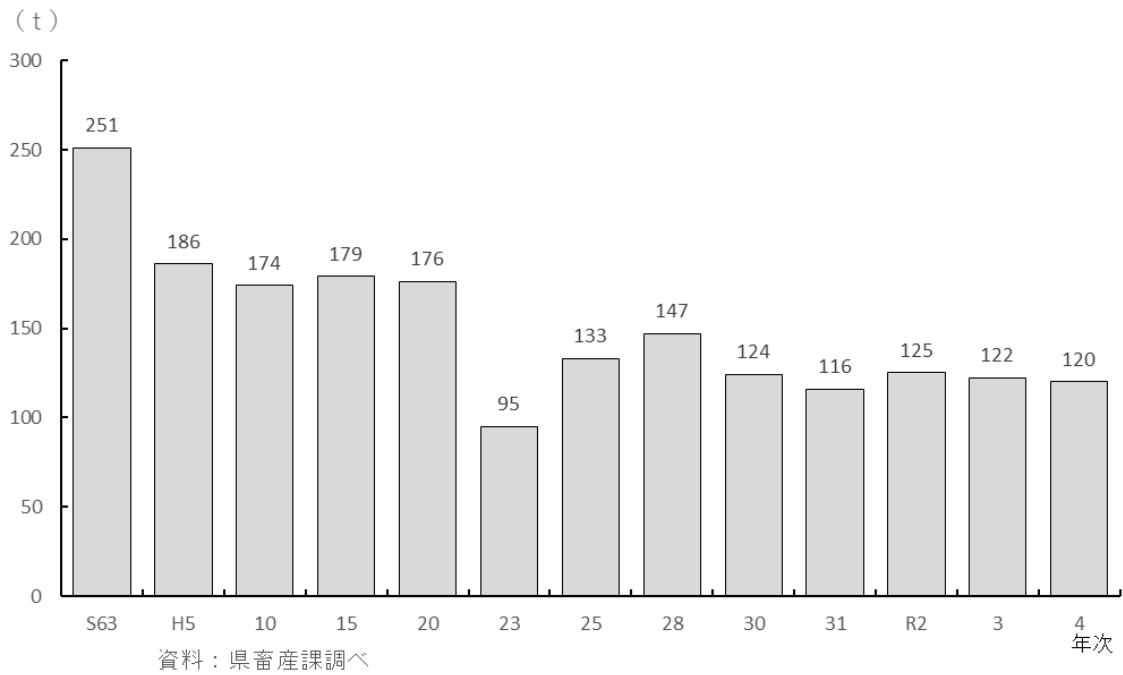
※養ほう業者以外の飼養者を含む。

(2) 飼養ほう群規模別飼養者数割合 (R5)



資料：県畜産課調べ

(3) はちみつの生産量



令和5年1月1日現在における飼養戸数は281戸、飼養ほう群数は11,122群で、戸数全国19位、ほう群数全国5位、令和4年次のはちみつ生産量全国6位である。

1飼養者当たりの飼養ほう群数は39.6群で、規模別にみると50群未満の飼養者が79.0%を占めている。



7. 特用家畜

(1) 特用家畜の飼養状況

(令和5年2月1日現在)

畜種	飼養戸数 (戸)	飼養頭羽数 (頭・羽)	備考
地鶏	8	2,430	
ホロホロ鳥	1	100	
アイガモ アヒル	10	8,896	
イノブタ	5	444	F ₁ (イノシシ×ブタ)44、B ₁ (F ₁ ×ブタ)400
イノシシ	11	28	イノブタの繁殖雄(猪)を含む
めん羊	7	19	
山羊	83	227	
馬	21	112	
鹿	4	99	
ダチョウ	2	4	
実験動物等	23	136,428	モルモット、マウス、ウサギ、ミニブタ等

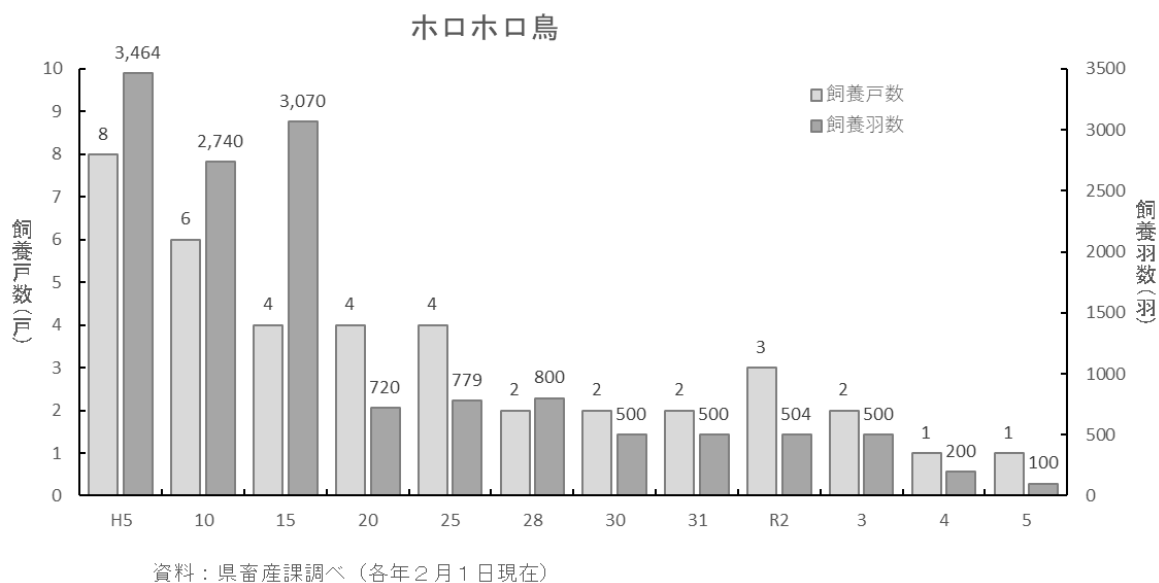
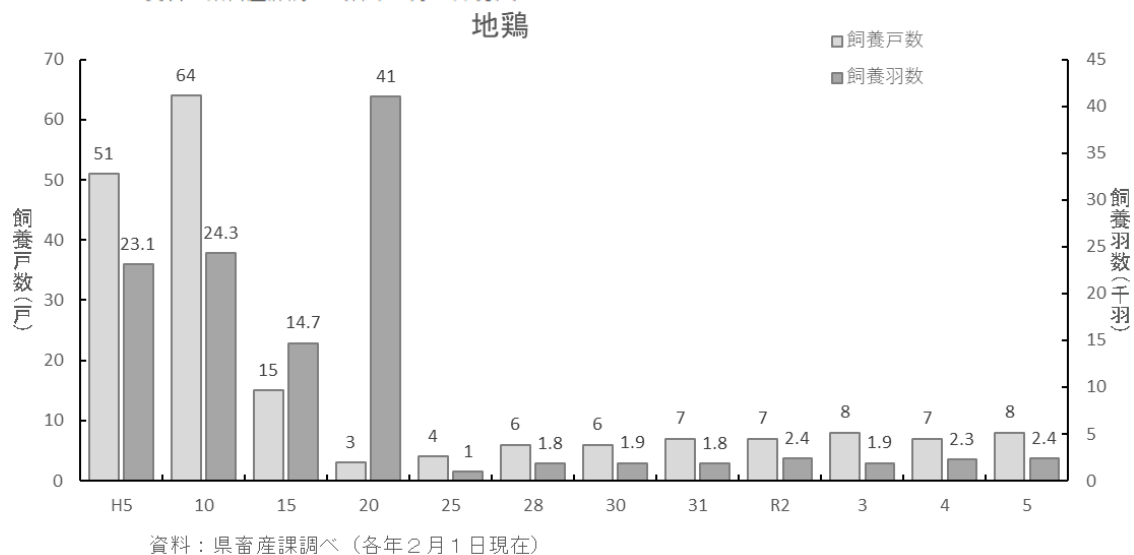
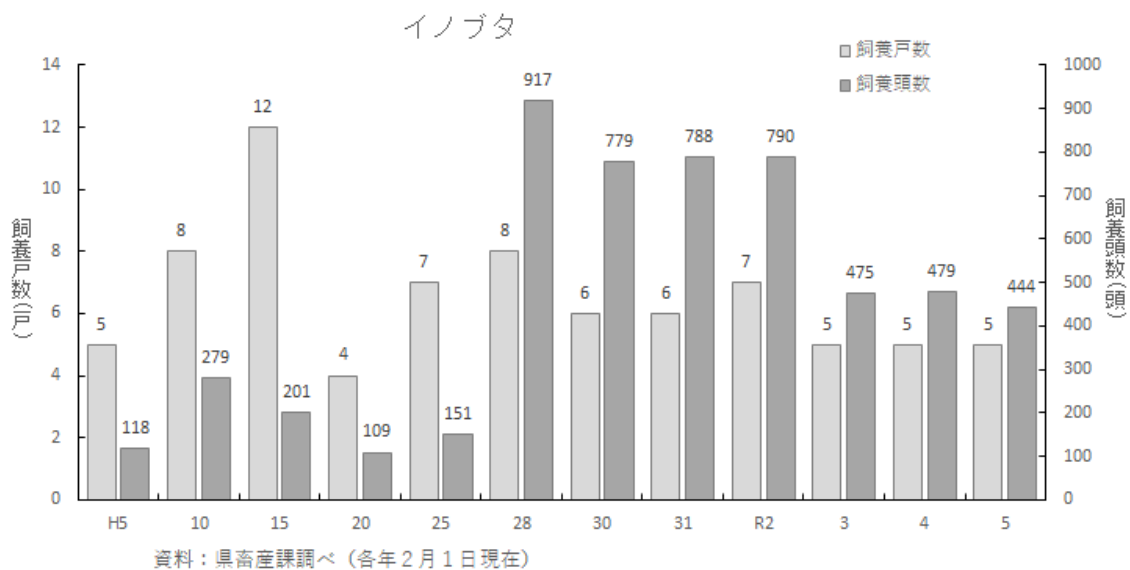
資料: 県畜産課調べ

・特用家畜(地域特別用途家畜の略)

犬、猫等のコンパニオン動物と、牛、豚、鶏の産業動物を除いたほとんどの家畜である。

その主なものは哺乳類では、馬、めん羊、ウサギ、ミンク、シカ等を含み、鳥類では、高品質鶏、アヒル、七面鳥、キジ等を含む。本県では主な特用家畜として、ホロホロ鳥、イノブタを位置づけ、推進している。

(2) イノブタ、地鶏、ホロホロ鳥の飼養戸数及び飼養頭羽数



Ⅲ 畜産関係機関

畜産関係機関所在地一覧

名 称	住 所	電話番号
農林水産部 農業生産局畜産課	〒640-8585和歌山市小松原通1-1	073-441-2920
畜産試験場	〒649-3141西牟婁郡すさみ町見老津1	0739-55-2430
畜産試験場養鶏研究所	〒644-1111日高郡日高川町船津1090-1	0738-54-0144
紀北家畜保健衛生所	〒640-8483和歌山市園部1291	073-462-0500
紀南家畜保健衛生所	〒649-2103西牟婁郡上富田町生馬321-10	0739-47-0974
紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所	〒649-5142東牟婁郡那智勝浦町下里490	0735-58-1481
海草振興局 農林水産振興部 農業水産振興課	〒640-8585和歌山市小松原通1-1	073-441-3382
那賀振興局 農林水産振興部 農業水産振興課	〒649-6223岩出市高塚209	0736-61-0025
伊都振興局 農林水産振興部 農業水産振興課	〒648-8541橋本市脇4-5-8	0736-33-4930
有田振興局 農林水産振興部 農業水産振興課	〒643-0004有田郡湯浅町湯浅2355-1	0737-64-1273
日高振興局 農林水産振興部 農業水産振興課	〒644-0011御坊市湯川町財部651	0738-24-2926
西牟婁振興局 農林水産振興部 農業水産振興課	〒646-8580田辺市朝日ヶ丘23-1	0739-22-1443
東牟婁振興局 農林水産振興部 農業水産振興課	〒647-8551新宮市緑ヶ丘2-4-8	0735-29-2011

IV 参考資料

1. 都道府県別畜産統計

(1) 乳用牛の飼養戸数・頭数(令和5年2月1日)

単位(戸数:戸、頭数:頭、比率:%)

	都道府県	飼養戸数	飼養頭数(めす)								1戸当たり飼養頭数	対前年比	
			合計	成畜(2歳以上)						未経産牛計		飼養戸数	飼養頭数
				計	経産牛			2歳未満(未経産牛)					
					小計	搾乳牛	乾乳牛						
1	北海道	5,380	842,700	503,400	470,000	400,000	70,000	33,300	339,300	372,700	156.6	96.8	99.6
2	青森	147	12,400	9,410	8,830	7,580	1,250	570	3,030	3,600	84.4	94.2	101.6
3	岩手	728	40,200	26,700	24,500	21,000	3,510	2,120	13,500	15,600	55.2	95.2	100.2
4	宮城	400	17,100	13,100	12,200	10,500	1,710	920	3,960	4,880	42.8	93.0	96.1
5	秋田	76	3,850	2,910	2,720	2,360	360	180	940	1,130	50.7	92.7	98.2
6	山形	186	11,200	9,090	8,540	7,320	1,220	550	2,070	2,620	60.2	93.0	95.7
7	福島	238	11,000	8,240	7,700	6,560	1,150	540	2,790	3,330	46.2	90.5	94.8
8	茨城	275	24,400	20,000	18,600	15,800	2,790	1,400	4,360	5,760	88.7	94.2	101.7
9	栃木	592	54,000	42,900	40,000	34,400	5,550	2,940	11,100	14,000	91.2	96.3	98.5
10	群馬	379	32,900	24,300	22,800	19,500	3,330	1,550	8,580	10,100	86.8	92.0	97.9
11	埼玉	148	7,100	5,420	5,080	4,370	710	340	1,680	2,030	48.0	91.4	92.4
12	千葉	403	26,500	21,200	20,000	17,000	3,000	1,190	5,300	6,490	65.8	89.0	95.3
13	東京	43	1,420	1,120	1,050	890	160	70	300	370	33.0	95.6	95.9
14	神奈川	131	4,430	3,580	3,320	2,820	500	260	850	1,110	33.8	92.3	91.3
15	新潟	143	5,500	4,420	4,120	3,540	590	300	1,080	1,380	38.5	92.3	93.9
16	富山	32	2,140	1,680	1,580	1,340	250	90	470	560	66.9	94.1	98.2
17	石川	40	3,050	2,260	2,190	1,920	270	70	790	860	76.3	95.2	98.4
18	福井	22	1,070	760	700	590	110	60	320	370	48.6	100.0	100.9
19	山梨	51	3,450	2,440	2,250	1,930	320	190	1,010	1,200	67.6	98.1	96.1
20	長野	237	13,900	10,500	9,820	8,310	1,510	730	3,320	4,050	58.6	91.9	96.5
21	岐阜	89	5,330	3,700	3,430	2,980	450	270	1,630	1,890	59.9	93.7	97.8
22	静岡	163	13,400	10,700	9,900	8,480	1,430	800	2,750	3,550	82.2	93.1	97.8
23	愛知	220	19,600	16,000	15,200	13,200	2,060	730	3,640	4,370	89.1	89.1	92.9
24	三重	29	6,900	5,800	5,550	4,850	700	250	1,100	1,350	237.9	90.6	101.2
25	滋賀	36	2,480	2,000	1,910	1,650	260	100	480	580	68.9	85.7	93.2
26	京都	45	3,870	3,220	3,040	2,620	420	180	650	830	86.0	97.8	99.5
27	大阪	21	1,130	1,010	970	810	160	50	120	160	53.8	87.5	92.6
28	兵庫	216	12,400	9,480	8,710	7,530	1,190	770	2,930	3,710	57.4	93.1	96.1
29	奈良	33	2,960	2,600	2,430	2,100	330	170	360	530	89.7	84.6	94.0
30	和歌山	6	500	460	440	380	60	20	40	60	83.3	66.7	94.3
31	鳥取	104	8,360	6,480	6,160	5,330	830	320	1,880	2,200	80.4	95.4	93.1
32	島根	79	10,900	8,570	8,100	6,960	1,130	470	2,320	2,790	138.0	91.9	100.0
33	岡山	192	16,000	12,600	12,000	10,300	1,740	650	3,330	3,980	83.3	92.8	95.2
34	広島	120	9,020	6,570	5,970	5,130	840	600	2,450	3,050	75.2	99.2	101.3
35	山口	52	2,430	1,870	1,740	1,500	240	130	560	690	46.7	96.3	98.0
36	徳島	75	3,540	2,990	2,840	2,460	380	150	550	700	47.2	92.6	90.3
37	香川	60	5,040	4,150	3,950	3,380	570	200	890	1,090	84.0	98.4	101.8
38	愛媛	82	4,520	3,490	3,220	2,780	440	270	1,040	1,300	55.1	93.2	94.8
39	高知	44	3,030	2,430	2,290	2,010	280	140	600	740	68.9	100.0	98.1
40	福岡	170	10,700	7,820	7,330	6,330	1,000	490	2,920	3,410	62.9	92.9	91.5
41	佐賀	34	1,970	1,640	1,540	1,320	220	100	340	430	57.9	87.2	92.1
42	長崎	123	6,170	5,170	4,890	4,220	670	280	1,000	1,270	50.2	93.2	94.5
43	熊本	467	43,800	32,300	29,700	25,600	4,110	2,570	11,500	14,100	93.8	94.5	100.5
44	大分	98	13,300	9,070	7,950	6,700	1,250	1,120	4,210	5,320	135.7	100.0	106.4
45	宮崎	204	13,400	9,940	9,320	8,050	1,280	620	3,450	4,070	65.7	97.6	98.5
46	鹿児島	138	12,800	9,620	8,880	7,590	1,290	750	3,150	3,900	92.8	93.9	97.7
47	沖縄	64	3,930	3,220	3,000	2,560	440	220	710	930	61.4	98.5	97.3
	全国	12,600	1,356,000	896,400	836,600	714,500	122,100	59,800	447,200	509,500	107.6	94.7	98.9

資料:農林水産省「畜産統計調査」

※成畜(2歳以上)には、2歳未満の経産牛(分べん経験のある牛)を含む。

※統計表の記号[-]は事実のないもの。「x」は秘密保護上数値を公表しないもの。「0」は単位に満たないもの。「nc」は計算不能のもの。ラウンドのため内訳と計は必ずしも一致しない。

(2) 肉用牛の飼養戸数・頭数(令和5年2月1日)

単位(戸数:戸、頭数:頭、比率:%)

都道府県	飼養戸数	乳用種 のいる戸数	合計	飼養頭数										1戸当たり 飼養頭数	対前年比	
				計	肉			種			ホルスタイン種 他	交雑種	飼養戸数		飼養頭数	
					子取り用飼す牛	肥育用牛	育成牛	黒毛和種	褐毛和種	その他						
1 北海道	2,180	645	566,400	210,100	76,400	63,300	70,300	202,900	2,710	4,490	169,900	186,400	259.8	97.3	102.4	
2 青森	726	125	57,100	32,100	13,800	12,900	5,350	31,500	0	590	12,000	13,100	79.7	95.2	104.6	
3 岩手	3,440	164	89,000	71,400	29,600	21,100	20,600	68,400	280	2,710	3,220	14,400	25.9	94.2	99.8	
4 宮城	2,550	115	80,100	70,500	26,400	27,700	16,400	70,200	280	80	910	8,640	31.4	94.8	100.1	
5 秋田	637	58	19,300	17,800	6,590	6,910	4,300	17,200	30	590	120	1,390	30.3	93.5	100.5	
6 山形	551	47	42,700	40,900	8,100	30,100	2,640	40,800	-	90	180	1,660	77.5	94.8	102.4	
7 福島	1,570	104	50,300	41,100	13,900	18,500	8,710	40,900	0	200	470	8,720	32.0	95.2	101.8	
8 茨城	418	98	52,200	32,700	4,230	25,800	2,820	32,500	70	100	4,930	14,800	125.5	94.1	105.7	
9 栃木	772	186	84,900	44,400	13,300	20,900	10,200	44,300	-	90	8,170	32,300	110.0	96.6	100.6	
10 群馬	484	224	57,400	32,800	8,000	20,300	4,540	32,700	-	180	1,230	23,300	118.6	96.4	100.2	
11 埼玉	130	59	17,300	11,900	2,330	6,400	1,180	11,900	-	20	1,730	3,710	139.1	95.8	97.2	
12 千葉	233	131	42,900	11,800	2,600	6,750	2,500	11,800	0	30	3,910	27,100	184.1	94.3	104.6	
13 東京	18	1	610	530	160	300	70	530	-	-	30	x	33.9	100.0	107.0	
14 神奈川	55	32	4,980	2,160	400	1,560	210	2,150	0	10	40	2,780	90.5	94.8	100.2	
15 新潟	179	45	11,700	5,850	1,520	3,460	870	5,830	-	20	580	5,280	65.4	100.8	103.5	
16 富山	33	15	3,770	2,440	800	1,290	350	2,440	-	0	80	1,250	114.2	110.0	102.2	
17 石川	73	28	3,870	3,340	600	2,180	560	3,330	-	10	40	290	50.3	96.1	99.7	
18 福井	40	18	1,980	1,410	230	970	210	1,400	-	0	10	560	48.5	90.9	93.8	
19 山梨	62	24	5,250	2,490	780	1,370	340	2,490	-	0	210	2,550	84.7	103.3	104.6	
20 長野	328	79	21,400	15,900	3,370	10,900	1,590	15,800	0	130	320	5,190	65.2	95.8	102.4	
21 岐阜	434	56	34,300	32,000	8,390	18,400	5,270	32,000	-	-	70	2,220	79.0	96.0	104.3	
22 静岡	110	58	20,200	7,980	1,160	6,350	470	7,980	0	110	500	11,800	183.6	100.0	103.6	
23 愛知	323	234	42,400	13,100	3,530	6,430	1,180	13,100	10	40	3,090	26,200	131.3	95.0	100.0	
24 三重	138	25	31,100	27,500	1,480	25,200	840	27,500	-	10	150	3,470	225.4	93.2	103.0	
25 滋賀	84	23	21,800	17,900	2,150	15,400	390	17,900	0	10	180	3,480	257.1	94.4	102.4	
26 京都	66	14	5,690	5,340	760	4,040	520	5,230	-	100	60	300	86.2	98.5	109.8	
27 大阪	9	8	890	640	80	560	0	630	0	10	40	210	98.9	100.0	114.1	
28 兵庫	1,090	47	58,800	50,500	17,900	24,500	8,110	48,600	50	1,820	410	7,850	53.9	95.8	104.3	
29 奈良	38	17	4,260	3,840	530	2,980	330	3,240	20	580	30	400	112.1	92.7	97.5	
30 和歌山	48	13	2,770	2,560	710	1,510	340	2,560	-	-	10	200	57.7	102.1	99.3	
31 鳥取	241	50	21,700	13,800	5,000	7,000	1,580	13,500	20	10	3,590	4,490	90.0	93.8	103.3	
32 島根	692	43	33,500	27,200	9,740	12,400	5,000	26,300	0	890	920	5,370	48.4	92.8	102.1	
33 岡山	378	89	35,100	15,900	5,470	7,890	2,530	15,900	20	20	2,120	17,100	92.9	93.1	100.6	
34 広島	437	39	27,000	14,800	4,680	7,500	2,590	14,800	10	0	1,100	11,100	61.8	95.0	105.1	
35 山口	331	31	14,800	11,500	4,270	5,340	1,870	10,300	20	1,210	380	2,740	44.1	94.8	100.7	
36 徳島	170	74	23,300	10,500	2,570	6,960	1,020	10,500	60	20	590	12,200	137.1	100.0	103.6	
37 香川	153	65	21,700	9,000	1,760	6,400	840	8,990	0	0	200	12,500	141.8	96.2	99.5	
38 愛媛	148	31	10,400	5,770	1,740	3,320	720	5,740	30	10	1,320	3,340	71.2	94.8	104.0	
39 高知	124	15	5,960	5,080	1,980	2,560	550	2,680	2,390	10	30	840	48.1	91.9	99.3	
40 福岡	169	57	23,400	15,100	2,940	11,800	600	14,800	0	590	1,980	6,320	138.5	100.0	100.0	
41 佐賀	519	25	52,400	51,300	10,100	36,400	4,770	51,200	-	10	50	1,110	101.0	97.8	99.2	
42 長崎	2,080	78	91,700	76,700	30,800	25,200	20,600	75,800	370	540	920	14,100	44.1	95.4	104.1	
43 熊本	2,090	228	139,100	111,800	43,700	41,800	26,200	93,900	17,300	580	2,190	25,100	66.6	96.3	104.1	
44 大分	1,000	77	52,800	42,300	18,100	14,800	9,480	41,900	90	310	3,030	7,500	52.8	95.2	102.5	
45 宮崎	4,700	168	260,200	235,000	86,000	90,400	58,500	228,400	40	6,510	2,200	23,100	55.4	95.1	102.2	
46 鹿児島	6,350	145	357,800	343,400	121,200	152,900	69,300	341,200	30	2,200	1,550	12,800	56.3	94.9	105.9	
47 沖縄	2,140	62	81,000	80,500	45,200	6,100	29,200	79,500	10	1,020	60	450	37.9	98.8	103.8	
全 国	38,600	4,170	2,687,000	1,882,000	645,200	830,500	406,500	1,833,000	23,800	25,900	234,800	569,600	69.6	95.5	102.8	

資料: 農林水産省「畜産統計調査」

※表中の「0」頭は、1〜4頭を四捨五入したものである(例:4頭→0頭)

※統計表の記号「-」は事実のないもの。「x」は秘密保護上数値を公表しないもの。「0」は単位に満たないもの。「nc」は計算不能のもの。ラウンドのための内訳と計は必ずしも一致しない。

(3)豚の飼養戸数・頭数(令和5年2月1日)

単位(戸数:戸、頭数:頭、比率:%)

	都道府県	飼養戸数	子取り用めす豚のいる戸数	飼 養 頭 数					1戸当たり飼養頭数	対前年比	
				計	子取り用めす豚	種おす豚	肥 育 豚	そ の 他		飼養戸数	飼養頭数
1	北海道	191	167	759,600	67,200	1,740	634,100	56,500	3,977.0	94.1	104.4
2	青森	52	37	356,300	29,500	450	303,900	22,500	6,851.9	86.7	99.4
3	岩手	85	76	474,000	40,200	1,180	402,800	29,900	5,576.5	98.8	96.4
4	宮城	94	78	180,300	17,300	770	149,300	12,900	1,918.1	100.0	96.4
5	秋田	64	49	270,100	26,200	480	203,900	39,500	4,220.3	97.0	103.8
6	山形	66	41	169,600	13,200	330	144,600	11,500	2,569.7	89.2	91.7
7	福島	52	42	123,700	10,300	280	92,300	20,700	2,378.8	94.5	101.7
8	茨城	226	190	458,400	39,500	1,890	410,500	6,520	2,028.3	85.6	109.0
9	栃木	89	76	299,800	30,100	1,010	261,500	7,260	3,368.5	96.7	84.2
10	群馬	172	133	593,700	49,000	1,850	531,700	11,200	3,451.7	93.0	98.2
11	埼玉	62	52	82,500	6,940	340	73,000	2,140	1,330.6	93.9	108.3
12	千葉	223	186	588,400	57,400	1,400	514,100	15,500	2,638.6	103.7	101.0
13	東京	8	3	1,880	90	30	1,450	310	235.0	88.9	94.0
14	神奈川	40	31	64,600	5,540	280	58,400	400	1,615.0	97.6	106.3
15	新潟	81	64	157,900	14,300	560	133,700	9,350	1,949.4	88.0	94.7
16	富山	13	7	23,500	1,470	120	20,000	1,870	1,807.7	92.9	105.9
17	石川	11	10	17,800	1,720	90	13,400	2,590	1,618.2	91.7	97.8
18	福井	3	2	1,710	x	10	1,400	80	570.0	100.0	132.6
19	山梨	15	14	10,300	1,230	120	8,560	420	686.7	107.1	95.4
20	長野	49	32	53,700	4,570	180	44,700	4,220	1,095.9	96.1	95.9
21	岐阜	28	22	98,100	6,780	180	91,000	170	3,503.6	103.7	109.4
22	静岡	72	57	90,600	9,650	1,140	68,800	11,100	1,258.3	90.0	95.4
23	愛知	138	123	308,700	25,700	1,250	281,600	190	2,237.0	97.2	101.0
24	三重	43	36	89,500	6,230	180	81,500	1,510	2,081.4	100.0	105.8
25	滋賀	3	-	1,310	-	-	1,310	-	436.7	60.0	29.8
26	京都	7	5	12,600	850	40	11,700	80	1,800.0	77.8	94.0
27	大阪	5	2	2,060	x	10	1,940	-	412.0	100.0	86.6
28	兵庫	19	12	20,600	600	20	19,600	330	1,084.2	100.0	113.2
29	奈良	8	6	3,570	260	10	3,280	10	446.3	100.0	86.2
30	和歌山	6	5	1,460	160	10	1,270	10	243.3	85.7	79.8
31	鳥取	15	12	61,500	5,260	130	49,900	6,170	4,100.0	93.8	103.4
32	島根	5	5	37,100	3,730	80	33,300	-	7,420.0	100.0	104.5
33	岡山	19	11	41,600	4,030	280	37,000	240	2,189.5	95.0	87.8
34	広島	24	17	151,300	11,500	210	127,100	12,500	6,304.2	100.0	109.4
35	山口	7	5	33,400	2,490	60	28,500	2,390	4,771.4	87.5	100.3
36	徳島	18	16	46,700	3,880	130	39,500	3,130	2,594.4	90.0	100.4
37	香川	20	14	31,400	1,880	140	25,500	3,850	1,570.0	90.9	102.3
38	愛媛	67	49	197,800	16,500	460	157,200	23,600	2,952.2	90.5	103.0
39	高知	15	15	25,100	2,340	90	22,000	710	1,673.3	100.0	103.3
40	福岡	39	24	78,800	6,260	150	64,800	7,630	2,020.5	90.7	96.1
41	佐賀	31	28	85,400	6,470	260	69,600	9,080	2,754.8	91.2	103.4
42	長崎	73	64	194,600	16,800	600	165,200	12,000	2,665.8	92.4	99.3
43	熊本	143	117	338,000	28,000	1,170	289,500	19,300	2,363.6	97.9	99.6
44	大分	40	24	149,700	12,200	320	132,200	4,970	3,742.5	105.3	109.3
45	宮崎	295	230	818,200	72,200	2,010	684,100	59,900	2,773.6	88.1	107.1
46	鹿児島	443	300	1,153,000	114,300	3,640	896,900	138,600	2,602.7	98.0	96.2
47	沖縄	195	148	195,900	17,500	1,140	124,600	52,700	1,004.6	89.0	92.5
	全 国	3,370	2,640	8,956,000	791,800	26,800	7,512,000	625,400	2,657.6	93.9	100.1

資料:農林水産省「畜産統計調査」

※統計表の記号「-」は事実のないもの。「x」は秘密保護上数値を公表しないもの。「0」は単位に満たないもの。「nc」は計算不能のもの。

ラウンドのため内訳と計は必ずしも一致しない。

(4)採卵鶏の飼養戸数・羽数(千羽)(令和5年2月1日)

単位(戸数:戸、羽数:千羽、比率:%)

	都道府県	飼養戸数	飼養羽数					1戸当たり 成鶏めす 飼養羽数 (採卵鶏)	対前年比	
			計	採卵鶏(種鶏を除く)			種鶏		飼養戸数 (採卵鶏)	成鶏めす羽 数(6か月 以上)
				計	ひな (6か月未満)	成鶏めす (6か月以上)				
1	北海道	52	6,333	6,311	1,050	5,261	22	101.2	92.9	100.1
2	青森	23	5,393	5,393	1,758	3,635	-	158.0	92.0	78.2
3	岩手	25	5,318	5,190	1,561	3,629	128	191.0	90.5	99.7
4	宮城	34	4,074	4,074	923	3,151	-	92.7	89.5	95.3
5	秋田	14	2,367	2,367	252	2,115	-	151.1	93.3	105.0
6	山形	10	397	397	31	366	-	36.6	83.3	79.9
7	福島	40	5,607	5,607	1,860	3,747	-	93.7	90.9	91.8
8	茨城	93	12,652	12,303	2,571	9,732	349	111.9	86.1	78.9
9	栃木	43	6,028	6,020	908	5,112	8	121.7	100.0	98.8
10	群馬	52	9,750	9,579	4,154	5,425	171	104.3	98.1	108.6
11	埼玉	61	3,668	3,668	1,877	1,791	-	29.4	100.0	68.7
12	千葉	93	13,113	13,073	3,383	9,690	40	106.5	88.3	92.5
13	東京	12	73	73	7	66	-	5.5	100.0	106.5
14	神奈川	41	1,037	1,037	36	1,001	-	24.4	100.0	85.3
15	新潟	45	5,344	4,669	1,373	3,296	675	94.2	94.6	77.2
16	富山	15	836	836	129	707	-	47.1	88.2	96.1
17	石川	9	1,307	1,307	161	1,146	-	127.3	81.8	116.1
18	福井	12	726	725	3	722	1	60.2	100.0	94.5
19	山梨	22	535	535	79	456	-	20.7	100.0	94.2
20	長野	16	539	533	88	445	6	27.8	88.9	98.7
21	岐阜	59	5,544	5,189	1,048	4,141	355	96.3	87.8	101.3
22	静岡	46	5,155	5,019	595	4,424	136	107.9	97.6	102.8
23	愛知	112	7,999	7,960	1,614	6,346	39	58.8	89.3	83.0
24	三重	64	6,261	6,224	1,442	4,782	37	74.7	91.4	91.1
25	滋賀	14	231	231	22	209	-	14.9	87.5	86.0
26	京都	27	1,578	1,576	11	1,565	2	58.0	108.0	105.0
27	大阪	12	53	53	10	43	-	3.6	109.1	113.2
28	兵庫	44	6,230	6,205	731	5,474	25	127.3	104.9	111.1
29	奈良	23	313	313	31	282	-	12.3	100.0	105.2
30	和歌山	19	265	265	12	253	-	13.3	95.0	87.8
31	鳥取	7	150	150	13	137	-	19.6	87.5	53.9
32	島根	16	930	930	159	771	-	48.2	106.7	101.4
33	岡山	57	8,773	8,773	2,905	5,868	-	102.9	91.9	89.6
34	広島	40	8,119	8,053	2,573	5,480	66	140.5	90.7	83.7
35	山口	13	1,627	1,627	413	1,214	-	93.4	92.9	91.7
36	徳島	14	742	742	139	603	-	43.1	82.4	97.1
37	香川	44	5,471	5,445	1,049	4,396	26	102.2	82.7	128.8
38	愛媛	37	2,094	2,094	561	1,533	-	41.4	100.0	104.9
39	高知	13	290	287	24	263	3	21.9	109.1	111.9
40	福岡	62	3,454	3,430	301	3,129	24	52.2	93.8	110.3
41	佐賀	24	200	200	16	184	-	7.7	100.0	80.0
42	長崎	51	1,942	1,942	331	1,611	-	31.6	91.1	105.8
43	熊本	35	2,586	2,555	487	2,068	31	59.1	92.1	97.3
44	大分	14	962	960	148	812	2	58.0	77.8	88.8
45	宮崎	59	2,889	2,790	660	2,130	99	39.4	100.0	102.0
46	鹿児島	100	11,782	11,582	3,301	8,281	200	89.0	90.3	95.4
47	沖縄	38	1,528	1,518	431	1,087	10	29.4	97.4	85.4
	全 国	1,760	172,265	169,810	41,231	128,579	2,455	76.1	93.4	93.7

資料:農林水産省「畜産統計調査」

※飼養戸数には成鶏めす1千羽未満の飼養者を含まない。

※統計表の記号[-]は事実のないもの。「x」は秘密保護上数値を公表しないもの。「0」は単位に満たないもの。「nc」は計算不能のもの。ラウンドのため内訳と計は必ずしも一致しない。

(5)ブロイラーの飼養戸数・羽数(千羽)(令和5年2月1日)

単位(戸数:戸、羽数:千羽、比率:%)

	都道府県	飼養戸数	飼養羽数	1戸当たり 飼養羽数	対前回は	
					出荷羽数	飼養羽数
1	北海道	8	5,364	670.5	88.9	103.6
2	青森	60	6,905	115.1	95.2	85.7
3	岩手	295	20,766	70.4	105.4	98.4
4	宮城	38	2,070	54.5	102.7	105.7
5	秋田	-	-	nc	-	x
6	山形	13	597	45.9	86.7	x
7	福島	30	797	26.6	85.7	94.8
8	茨城	37	1,265	34.2	92.5	88.2
9	栃木	8	x	x	80.0	x
10	群馬	25	1,574	63.0	92.6	100.8
11	埼玉	1	x	x	100.0	x
12	千葉	25	1,859	74.4	100.0	111.3
13	東京	-	-	nc	nc	nc
14	神奈川	-	-	nc	nc	nc
15	新潟	10	1,254	125.4	111.1	x
16	富山	-	-	nc	nc	nc
17	石川	-	-	nc	nc	nc
18	福井	3	98	32.7	150.0	x
19	山梨	8	389	48.6	100.0	110.8
20	長野	19	672	35.4	111.8	100.3
21	岐阜	13	1,009	77.6	86.7	100.8
22	静岡	24	1,078	44.9	96.0	108.2
23	愛知	12	1,048	87.3	109.1	105.1
24	三重	8	628	78.5	80.0	89.0
25	滋賀	2	x	x	100.0	x
26	京都	10	475	47.5	90.9	80.1
27	大阪	-	-	nc	nc	nc
28	兵庫	42	2,224	53.0	84.0	104.9
29	奈良	2	x	x	100.0	x
30	和歌山	16	249	15.6	100.0	104.2
31	鳥取	11	3,223	293.0	110.0	103.6
32	島根	2	x	x	66.7	x
33	岡山	18	2,814	156.3	105.9	99.0
34	広島	7	x	x	87.5	x
35	山口	23	1,474	64.1	88.5	95.0
36	徳島	134	3,723	27.8	91.8	87.5
37	香川	30	2,198	73.3	90.9	87.9
38	愛媛	25	1,083	43.3	100.0	132.6
39	高知	8	419	52.4	100.0	89.0
40	福岡	37	1,185	32.0	97.4	82.1
41	佐賀	62	3,949	63.7	98.4	108.6
42	長崎	50	3,024	60.5	100.0	97.0
43	熊本	63	3,969	63.0	94.0	103.1
44	大分	50	2,447	48.9	98.0	106.8
45	宮崎	462	28,254	61.2	103.6	102.4
46	鹿児島	390	31,285	80.2	103.2	111.4
47	沖縄	14	628	44.9	100.0	91.7
	全国	2,100	141,463	67.4	100.0	101.6

資料:農林水産省「畜産統計調査」

※統計表の記号[-]は事実のないもの。「x」は秘密保護上数値を公表しないもの。「0」は単位に満たないもの。「nc」は計算不能のもの。ラウンドのため内訳と計は必ずしも一致しない。

(6)ミツバチの飼養戸数・ほう群数及びはちみつ生産量

(令和5年1月1日、生産量は令和4年)

	都道府県	飼養戸数 (戸)	飼養群数 (群)	生産量 (kg)
2	青森	117	4,396	149,612
3	岩手	152	3,664	47,488
4	宮城	178	1,684	17,684
5	秋田	149	5,248	221,080
6	山形	164	5,491	26,000
7	福島	355	6,718	35,567
8	茨城	243	5,217	7,905
9	栃木	282	4,771	32,985
10	群馬	348	5,000	-
11	埼玉	426	7,986	37,681
12	千葉	432	8,524	25,090
13	東京	242	1,665	17,834
14	神奈川	437	2,660	11,343
15	新潟	184	1,570	21,035
16	富山	45	570	12,277
17	石川	95	609	11,016
18	福井	16	144	11,491
19	山梨	151	1,876	24,171
20	長野	596	16,740	217,974
21	岐阜	436	6,858	80,834
22	静岡	469	5,773	88,075
23	愛知	359	5,402	111,438
24	三重	108	2,911	16,346
25	滋賀	99	1,506	-
26	京都	216	1,201	19,210
27	大阪	106	1,644	-
28	兵庫	351	3,689	65,558
29	奈良	83	1,263	-
30	和歌山	281	11,122	119,700
31	鳥取	137	2,557	2,797
32	島根	251	1,715	26,410
33	岡山	332	6,323	20,265
34	広島	412	6,702	-
35	山口	344	3,709	41,857
36	徳島	197	2,386	47,720
37	香川	176	3,544	30,000
38	愛媛	296	6,242	59,874
39	高知	53	1,793	4,207
40	福岡	316	9,291	85,732
41	佐賀	109	3,414	18,811
42	長崎	231	5,303	19,160
43	熊本	243	12,400	239,400
44	大分	231	4,863	87,234
45	宮崎	192	5,353	25,230
46	鹿児島	384	13,310	-
47	沖縄	294	19,952	10,837
	全国	11,416	237,222	2,527,469

資料:県畜産課調べ

2. 家畜衛生

家畜伝染病(法定伝染病)発生状況(全国)

年次	口蹄疫	流行性脳炎	炭疽	ブルセラ病	結核病	ヨーネ病	ヒロプラズマ病	アナプラズマ病	馬伝染性貧血	豚熱	ニューカッスル病	家きんサルモネラ症	腐蝕病	伝達性海綿状脳症	高病原性鳥インフルエンザ
平成 15		1			1	49 (めんま1山産)							52	(めんま1)	
16		3			1	507 (めんま1山産2)						1	69	5	5
17		4			1	483 (めんま3山産2)						4	83	8	10
18		6			1	606 (めんま1山産1)						4	70	10	1
19		3		1		116 (山産2)		1				1	69	3	4
20		8		1		283 (山産3)		1				1	64	1	
21		4		1	3	317 (めんま1山産3)							64	1	3 (らぎら)
22 10(水牛1)		3		2	1	74 (めんま3山産1)					1	10	39		1
23						332 (めんま1)			2				45	2 (めんま2)	23
24		3				212 (めんま1)							42		
25		4				295 (山産2)							49		
26		6				326							57		4
27		2				329 (めんま1山産1)							59		
28		5				316 (山産1)							43	1 (めんま1)	7 (めんま2)
29						74 (山産1)							30	(山産1)	5
30						321 (めんま1山産2)				5			42		1
31		1				380 (めんま1山産3)				45			33		
令和 2						389 (めんま1山産1)		1		10			39		33
3						116 (山産3産1)		1		15			33		25 (めんま3)
4		1				519 (めんま1山産6産1)				8 (いのしし)			26		98 (めんま5だちま3)

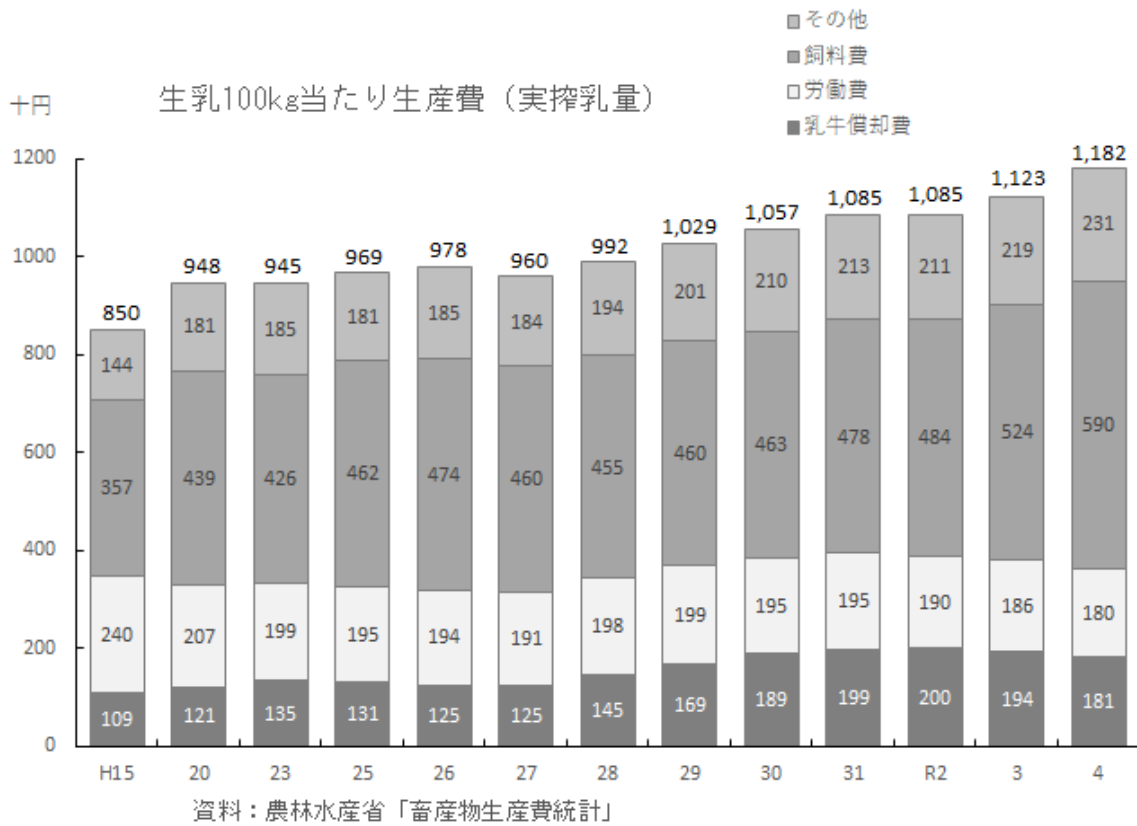
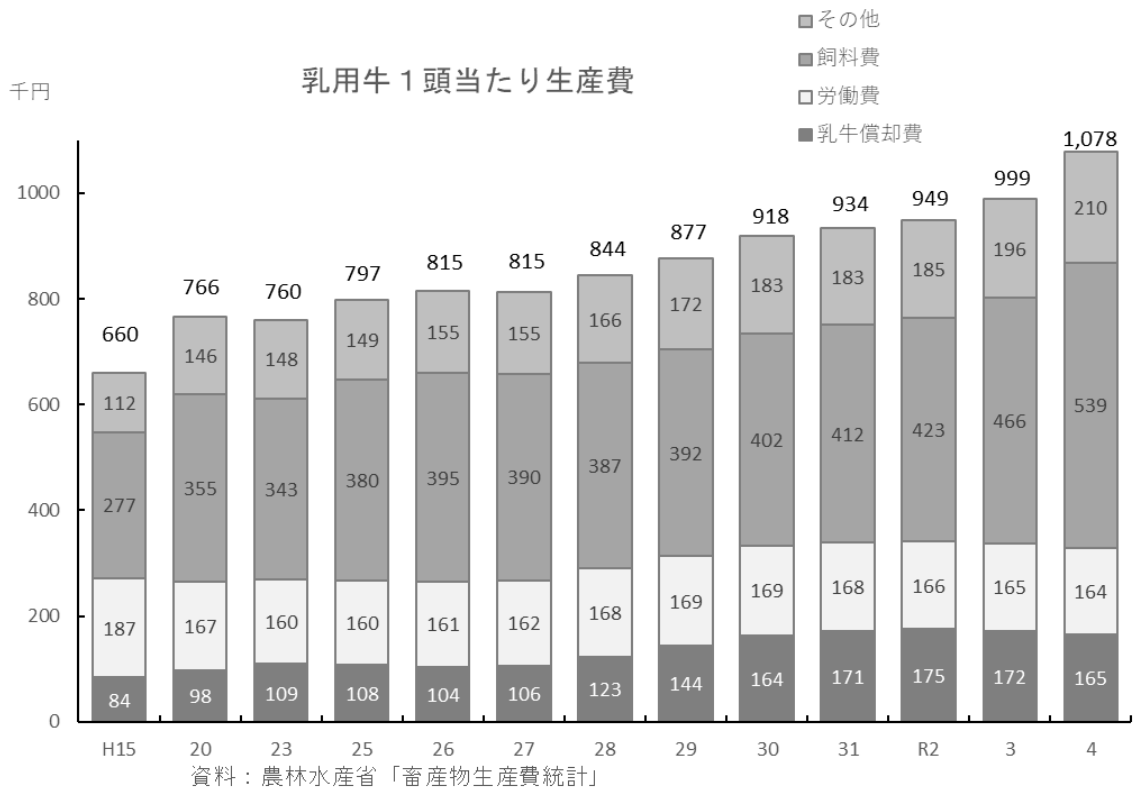
家畜伝染病(法定伝染病)発生状況(和歌山県)

年次	口蹄疫	流行性脳炎	炭疽	ブルセラ病	結核病	ヨーネ病	ヒロプラズマ病	アナプラズマ病	馬伝染性貧血	豚熱	ニューカッスル病	家きんサルモネラ症	腐蝕病	伝達性海綿状脳症	高病原性鳥インフルエンザ
平成 15															
16															1
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															1
24															
25															
26															
27															
28															
29															
30															
31															
令和 2															1
3										1					
4															1 (めんま1)

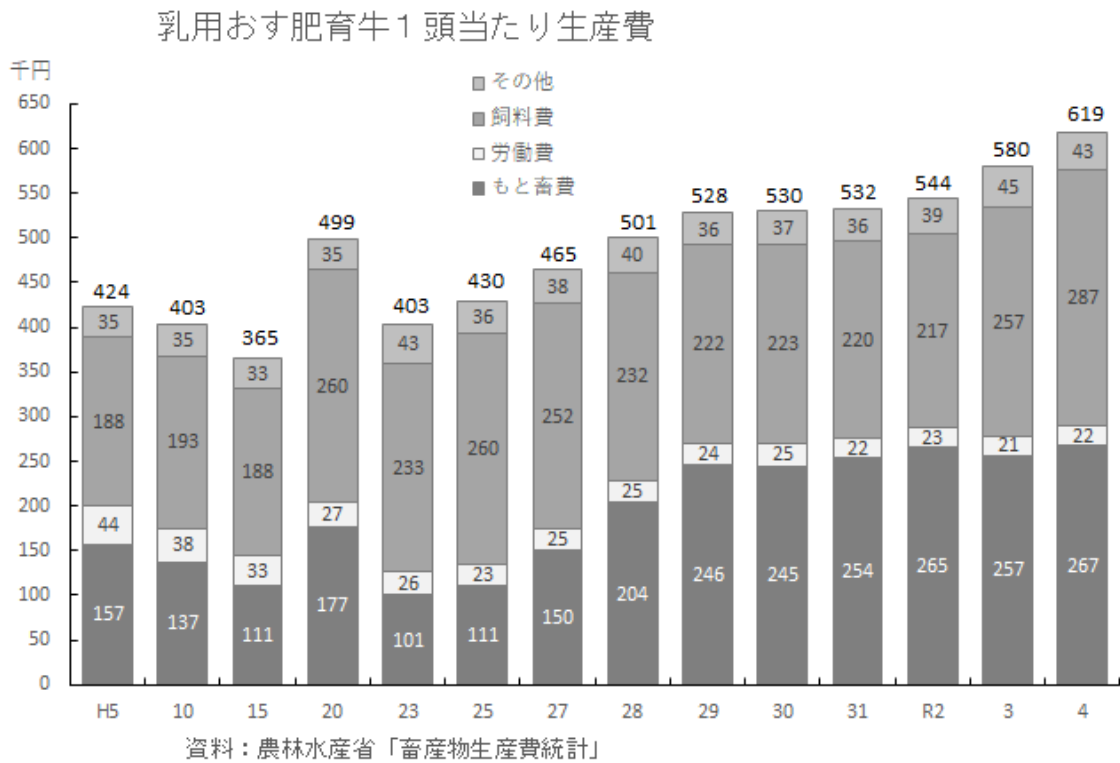
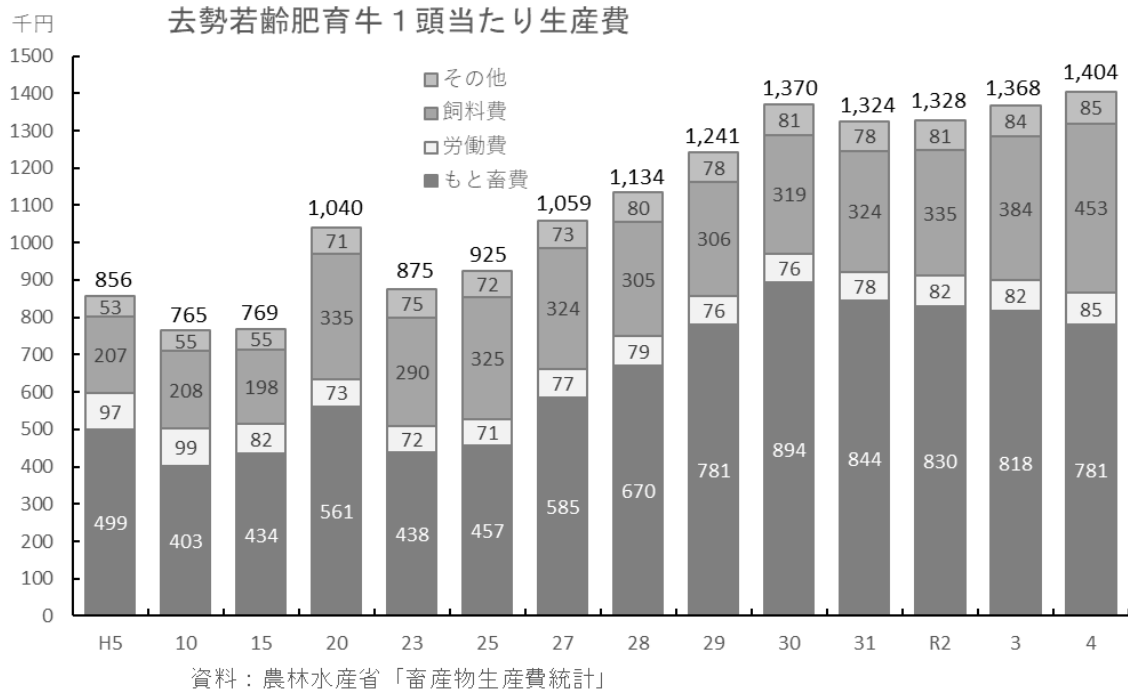
※資料：農林水産省「監視伝染病発生年表」 ※毎年1月～12月の数値

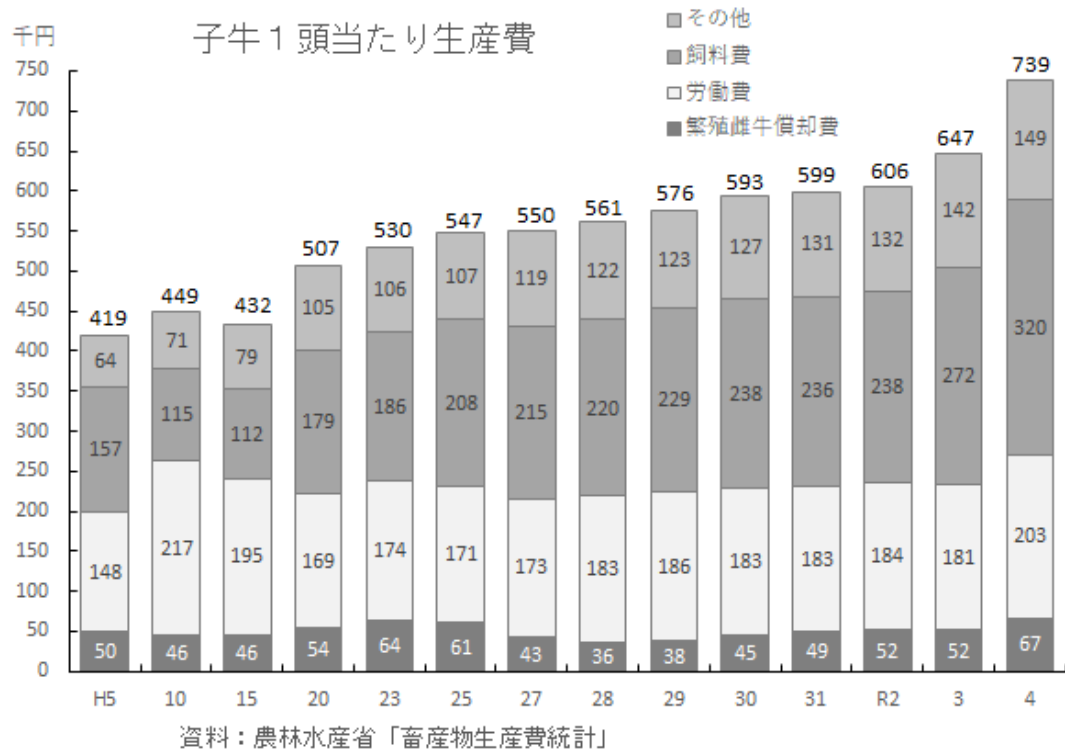
3. 畜産物生産費(全国)

(1) 乳用牛生産費

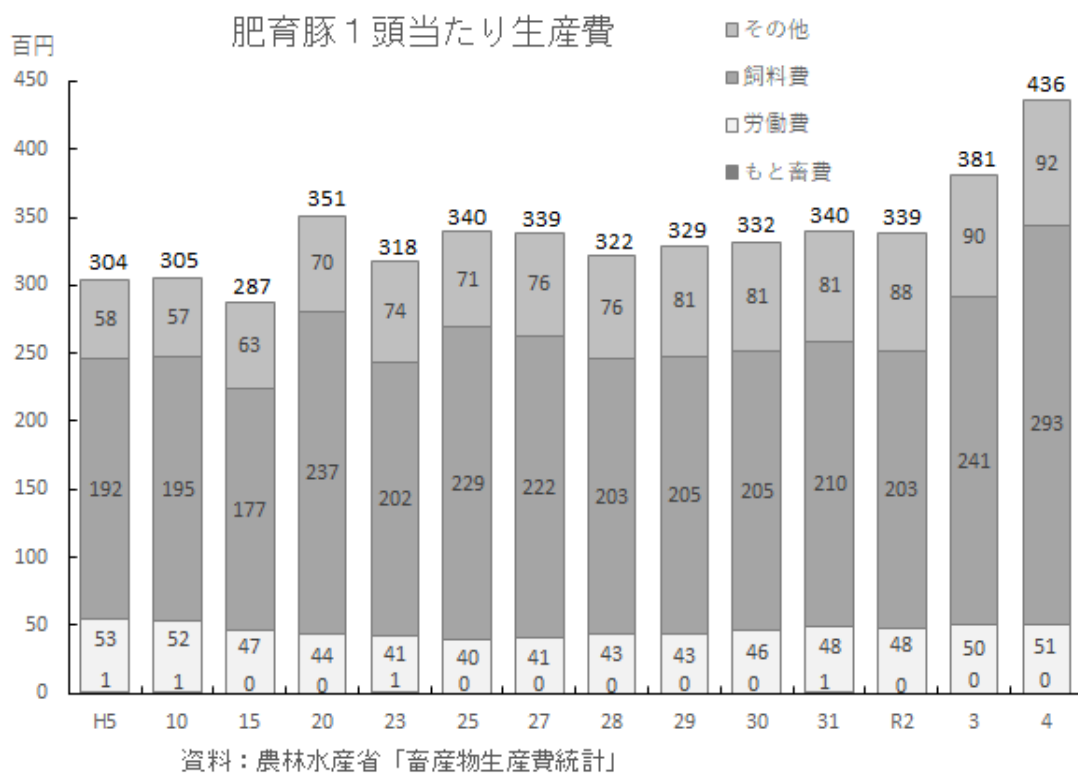


(2)肉用牛生産費





(3) 豚生産費



4. 畜産環境

(1) 家畜のふん尿処理の動向

県内の畜産経営体のうち、牛は10頭未満、豚は100頭未満、鶏は2,000羽未満を除いた83戸の家畜ふん尿処理の利用施設については、図表のとおりである。

図表 家畜ふん尿処理の利用施設(令和4年度)

畜産	区分	調査対象総数	主な処理施設別利用経営体数(延数)								
			堆肥舎	強制発酵施設	乾燥(天日・機械式)施設	貯留槽	液肥化施設	汚水浄化施設	簡易対応	その他(焼却施設含む)	
乳用牛		4	9	2	1	1	0	0	2	0	3
肉用牛		33	38	26	8	0	0	0	0	2	2
豚		3	4	3	1	0	0	0	0	0	0
採卵鶏		14	21	10	4	6	0	0	0	0	1
ブロイラー		20	21	15	0	0	0	0	0	2	4
計		74	93	56	14	7	0	0	2	4	10

資料: 県畜産課調べ(令和5年2月1日)

主な処理施設は、堆肥舎によるものが56戸と全体の60%を占めており、強制発酵施設14戸(15%)、その他(焼却施設含む)10戸(11%)、乾燥(天日・機械式)施設7戸(8%)、簡易対応4戸(4%)、汚染浄化施設2戸(2%)の順となっている。

畜種別に見ると、全畜種ともに堆肥舎が中心であるが、肉用牛の強制発酵施設や採卵鶏の乾燥(天日・機械式)施設による経営体も比較的多い。

(2) 畜産環境保全に関する事業概要(令和4年度)

ア 家畜堆肥利用体制の構築

県内産家畜堆肥の流通円滑化を図るため、耕種農家と畜産農家のマッチングを行うとともに、堆肥散布実証展示会の開催、良質堆肥の生産技術指導等を実施している。

イ 家畜ふん尿処理施設・機械等整備推進

環境汚染の防止及び家畜ふん尿の適切な処理を目的とし、家畜ふん尿処理施設・機械等の整備を推進している。

ウ その他

畜産に起因する環境問題を未然防止するため、畜産農家に対する巡回及び指導を実施している。

5. 和歌山県の畜産物紹介

(1) 熊野牛

熊野牛は、その名のとおり和歌山県南部「熊野地方」で昔(旧藩時代)から飼われていた和牛で、農耕用の貴重な労働力として活躍していました。

元々優秀な能力と由緒を持っている熊野牛は、選び抜かれた血統を取り入れた改良により和歌山県特産の黒毛和種として平成3年にブランド化されました。

現在、熊野牛の基準を、和歌山県内又は熊野牛認定委員会「以下委員会」が指定する牧場で、出荷月齢の半数以上飼育された24ヶ月齢以上の黒毛和種から生産された枝肉で、(公社)日本食肉格付協会による枝肉格付けがA3、B3以上のもの、もしくは委員会が委嘱した調査員により肉質等が確認され、委員会において適当と認められたものと規定しています。

熊野牛の肉質はきめ細かくて柔らかく、肉そのものの風味に優れています。主に県内及び近畿圏内で消費され、一部インターネット販売やホテルなどにより全国販売されています。



(2) 紀州和華牛

赤身肉に対する消費者ニーズの高まりを受け、県畜産試験場では平成27年から29年にかけて、脂肪交雑を抑えた黒毛和牛の生産技術の研究を実施しました。

みかんジュースかすや醤油かすなどの県産副産物を活用した飼料を給与することで、ビタミン豊富で脂肪交雑を抑えた和牛肉の生産が可能となり、平成31年に「紀州和華牛」としてデビューしました。

紀州和華牛は、和歌山県内で肥育された黒毛和牛で、県産副産物を1割以上利用した飼料で、ビタミン制限を行わず飼育し、枝肉格付けがA2～4、B2～4のものとし、紀州和華牛協議会が認定を行っています。

紀州和華牛は、ロース芯の脂肪交雑が抑えられていることに加え、ビタミンE含量が約1.7倍増加することがわかっており、熊野牛とともに、和歌山県のブランド牛として、県内外で販売されています。



(3) 紀州うめどり

紀州うめどりは、梅干しの製造段階で出る梅酢を活用して、品質の高い鶏肉ができないかという発想のもと、平成15年に生まれたブランドです。県養鶏研究所と県内梅加工業者との共同研究により開発された脱塩濃縮梅酢「紀州梅そだち」を飼料に添加して育った鶏で、内臓脂肪が減少、免疫力が向上します。

紀州うめどりは、保水力が高く、保存時に水分の流出が少ないことから、旨味がしっかりと鶏肉の中に閉じ込められ、パサつきにくい。また、梅酢の有効成分により、脂質の酸化が抑制されるため、一般的なブロイラーと比較し、鶏臭さが少ないのも特徴です。



(4) 紀州うめたまご

紀州うめたまごは、紀州うめどり同様、「紀州梅そだち」を飼料に添加して飼育しています。お子さんや妊婦さんに大切な栄養素である、ビタミンの一種「葉酸」を一般的な卵より多く含むのが紀州うめたまごの特徴です。

優良県産品にも認定されており、ケーキ店などからの評判が良く、インターネットでも販売されています。



紀州うめたまごの特徴

卵	葉酸含有量の増加
---	----------

※紀州梅そだちについて

開発当初は「脱塩濃縮梅酢 BX70」(梅 BX70)としていたが、「紀州梅そだち」と名称を変更。

(5) 龍神コッコ

「龍神コッコ」は、田辺市龍神村で300年以上飼養されてきた日本鶏「龍神地鶏」と「ロードアイランドレッド」の交雑により、令和2年度に畜産試験場養鶏研究所が開発した新たな卵用地鶏です。

令和3年5月から、田辺市龍神村において飼養が始まり、卵が販売されています。



卵の特徴

- ・サイズは一般卵と比べて小振りで卵かけごはんにピッタリ
- ・旨味成分(グルタミン酸)の含有量が一般卵より多い
- ・濃厚な味わいでコクがあり、後味も良い

(6)イノブタ

イノブタは昭和43年にすさみ町長が畜産試験場へ雄イノシシの子どもを寄贈したことが始まりで、その雄イノシシと雌豚を交配させて昭和45年3月8日に初めて誕生しました。その後、昭和49年より公の機関としては全国に先駆けて農林省の総合助成を受け、イノブタの試験研究を始めました。イノブタは、デュロック種またはバークシャー種の雌ブタと雄イノシシを交配した一代雑種(F1)で、イノシシの旨みと豚肉の柔らかさを併せ持ち、産子も多くとれることからこの組み合わせがベストとされています。肥育期間はブタに比べ3~4ヶ月長く、脂身は甘くこくがあり、口の中でとろけるような滑らかさをもっています。また、肉色は赤みが濃く牛肉に似ているのが特徴です。

イノブタの主産地であるすさみ町では、イノシシとブタの良いところ(恵み)を取った肉という意味で「イブの恵み」と名付け、ブランド化がすすめられています。

また、加工品開発にも取り組んでおり、平成24年度のプレミア和歌山(和歌山県優良県産品選定制度)では、「イブの恵みモモハム」が最優秀賞となる審査委員特別賞を受賞しました。

なお、平成26年度から消費者の幅広いニーズに応えるため、雌豚(デュロック種)と雄イノブタ(雌豚バークシャー種×雄イノシシ)を交配したB1(戻し交配)イノブタの生産を開始し増頭に努めています。



イノブタ肉『イブの恵み』



『イノブタ』

(7)ホロホロ鳥

アフリカ西部原産のキジ目の鳥で、大変美味とされフランスを中心としたヨーロッパでフランス料理やイタリア料理の食材用として多数飼育されています。

肉は赤みが濃く、肉質がしまっていて独特の風味、コクがありヘルシーであるのが特徴です。

本県では、日高川町(旧中津村)で飼育されています。



『ホロホロ鳥』

(8) はちみつ

ミツバチが植物の花蜜を集め、巣に貯え、熟成した天然の甘味物質であるはちみつ。気候の温暖な和歌山は、ほう群数、蜂蜜生産量のいずれも全国有数の産地です。

和歌山県の特徴であるみかんの花を蜜源とするみかんはちみつや、日本在来種であるニホンミツバチのはちみつなども生産されています。



これらの畜産物は全て「プレミアム和歌山」(和歌山県優良県産品選定制度)に認定されています。

「プレミアム和歌山」は、県内で生産・製造されたもの、安心・安全を重視したもの、和歌山らしさ・和歌山ならではのものの観点から優良な県産品を選定・推奨する制度です。

